

西小千谷地区市街地まちづくりに関する提言書

平成28年3月

西小千谷地区市街地まちづくり基本計画検討委員会

はじめに

中心市街地の集客や賑わい創出において大きな役割を果たしてきた(公財)小千谷総合病院が移転することになり、かねてより活力が低下しつつある中心市街地に更なる影響を及ぼすことが懸念されております。

本委員会ではそのような状況を受け、中心市街地の活力再創出に向けて、病院跡地の活用に焦点を絞り検討を重ねてまいりました。

これまでに市議会議員との懇談会を含めて計4回の委員会を開催しております。また、その間、官民連携の先進事例である岩手県紫波町のオガールプラザを視察し、施設の作り方や運営の方法、担い手の関わり方などについて学び、創意工夫すれば小千谷市でも同様の取り組みが可能であると確認することができました。さらに、市民ワークショップを開催し、病院跡地の使い方や過ごし方、関わり方について幅広い年代の市民の方々からアイデアをいただいております。これらの検討、取り組みの成果を提言書としてとりまとめております。

本提言書では、中心市街地の現状や市民ニーズから導き出された跡地活用の基本的方向性などを踏まえ、“図書館を跡地活用の核機能とすること”、“機能(施設)の複合化によって相乗効果を生み出すこと”を提言の主軸としております。また、その実現に向けたポイントを先進事例の取り組みなどを参考に提言しております。

市におかれましては、本提言を十分に尊重いただいた上で、西小千谷地区市街地まちづくり基本計画の策定を進めていただき、中心市街地さらには西小千谷地区全体の活性化に資する跡地活用の実現に向けてご尽力いただくことを期待いたします。

平成28年3月1日

西小千谷地区市街地まちづくり基本計画検討委員会 委員長

澤田 雅浩

目 次

1. 検討委員会設置の背景、検討体制、検討経過	1
2. 計画対象地の状況等	4
3. 計画対象地付近の現況と位置づけ	7
4. 跡地活用の基本的方向性	15
5. 先進地視察の結果報告	16
6. 市民ワークショップの結果報告	23
7. 跡地活用方針	29

【参考資料】

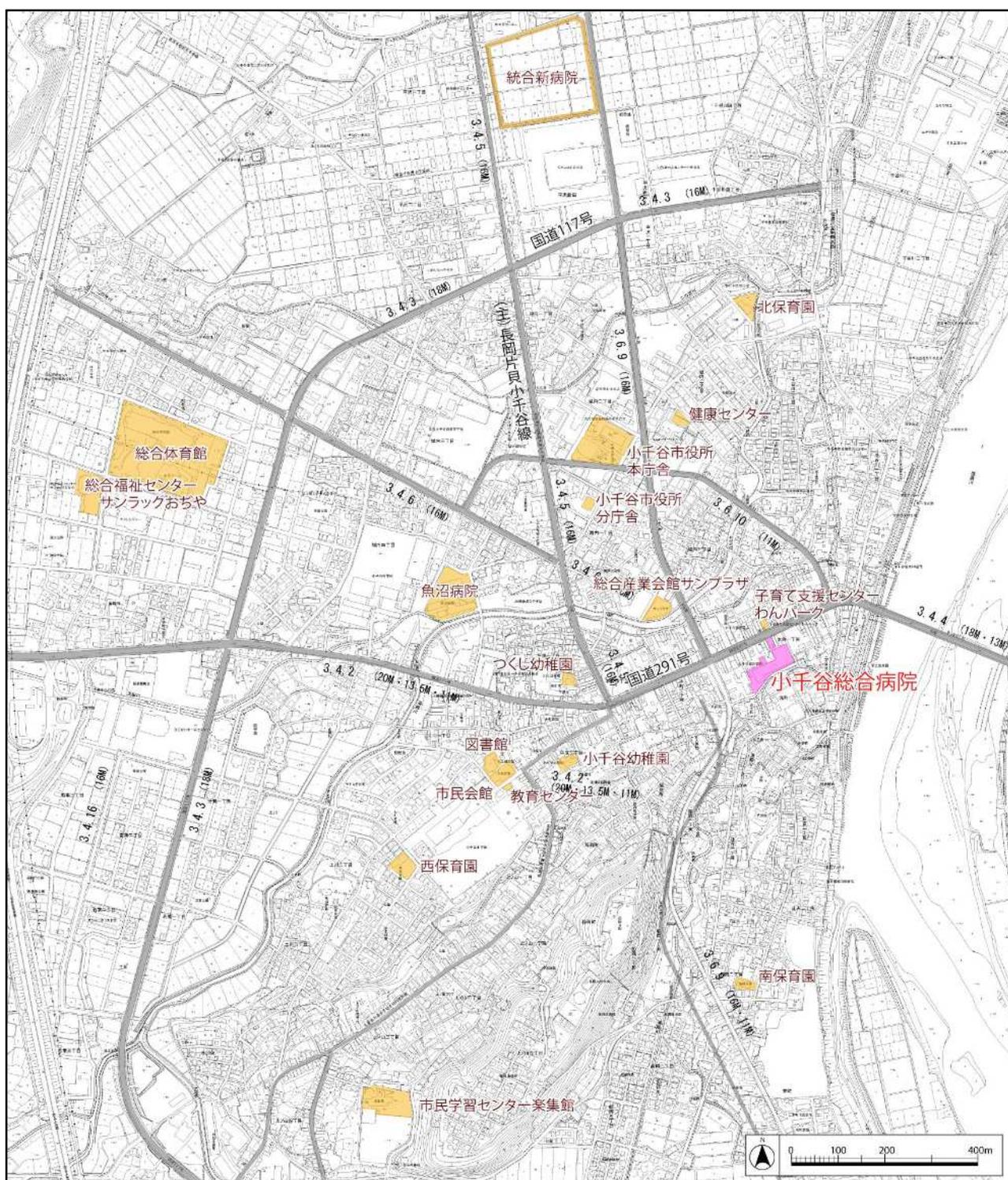
西小千谷地区市街地まちづくり基本計画検討委員会 委員名簿	32
西小千谷地区市街地まちづくり基本計画検討委員会 設置要綱	33
導入機能意向調査の結果一覧	34
導入可能性検証の結果一覧	35
市民ワークショップ まとめシート一覧	36

1. 検討委員会設置の背景、検討体制、検討経過

(1) 背景

西小千谷地区の本町一丁目に立地する小千谷総合病院は、その立地特性から中心市街地の集客や賑わい創出において大きな役割を果たしてきましたが、今回の統合移転により、かねてより活力が低下しつつある中心市街地に更なる影響を及ぼすことが懸念されます。

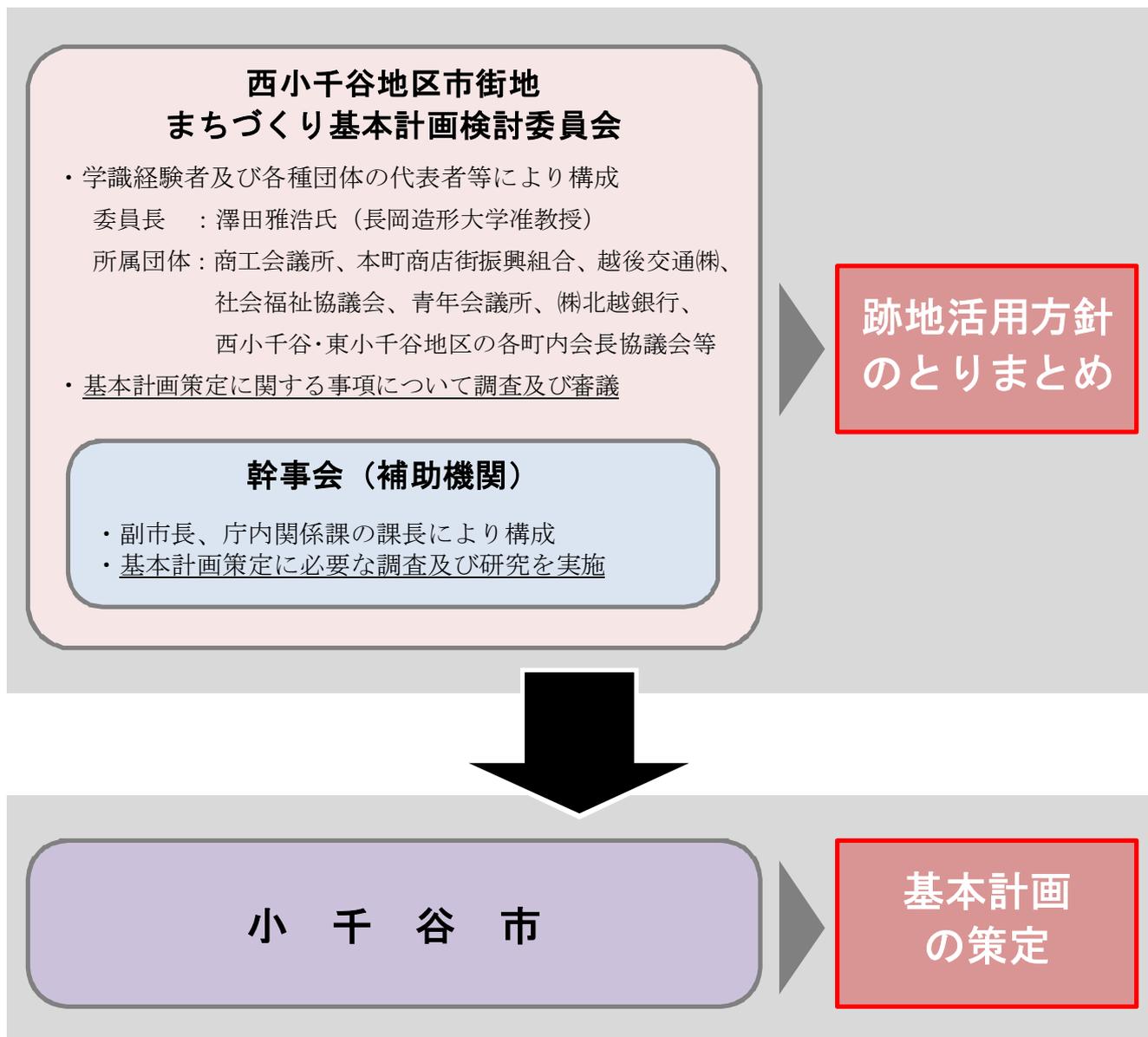
そのため、本委員会では西小千谷地区の市街地まちづくり基本計画を策定するため、中心市街地の活力再創出に資する跡地活用のあり方について検討を行いました。



(2) 検討体制

検討体制としては、西小千谷地区市街地まちづくり基本計画検討委員会とその補助機関である幹事会を設置し、跡地活用のあり方について検討を進めました。

また、検討委員会でとりまとめた跡地活用方針を受け、小千谷市が西小千谷地区市街地まちづくり基本計画を策定することとなっています。



(3) 検討経過

第 1 回幹事会（平成 27 年 6 月 25 日開催）

第 1 回検討委員会（平成 27 年 7 月 21 日開催）

「跡地活用の基本的方向性の検討」

【事務局】導入機能意向調査、導入可能性調査の実施

第 2 回幹事会（平成 27 年 10 月 1 日開催）

第 2 回検討委員会（平成 27 年 10 月 6 日開催）

「導入機能の絞り込み」

第 3 回幹事会（平成 27 年 11 月 2 日開催）

先進地視察（平成 27 年 11 月 4・5 日実施）

「オガールプラザ(岩手県紫波町)」

第 3 回検討委員会（平成 27 年 11 月 20 日開催）

「市議会議員との懇談会」

市民ワークショップ（平成 28 年 1 月 9 日開催）

「こんな図書館あったらいいね！」

第 4 回幹事会（平成 28 年 2 月 18 日開催）

第 4 回検討委員会（平成 28 年 2 月 24 日開催）

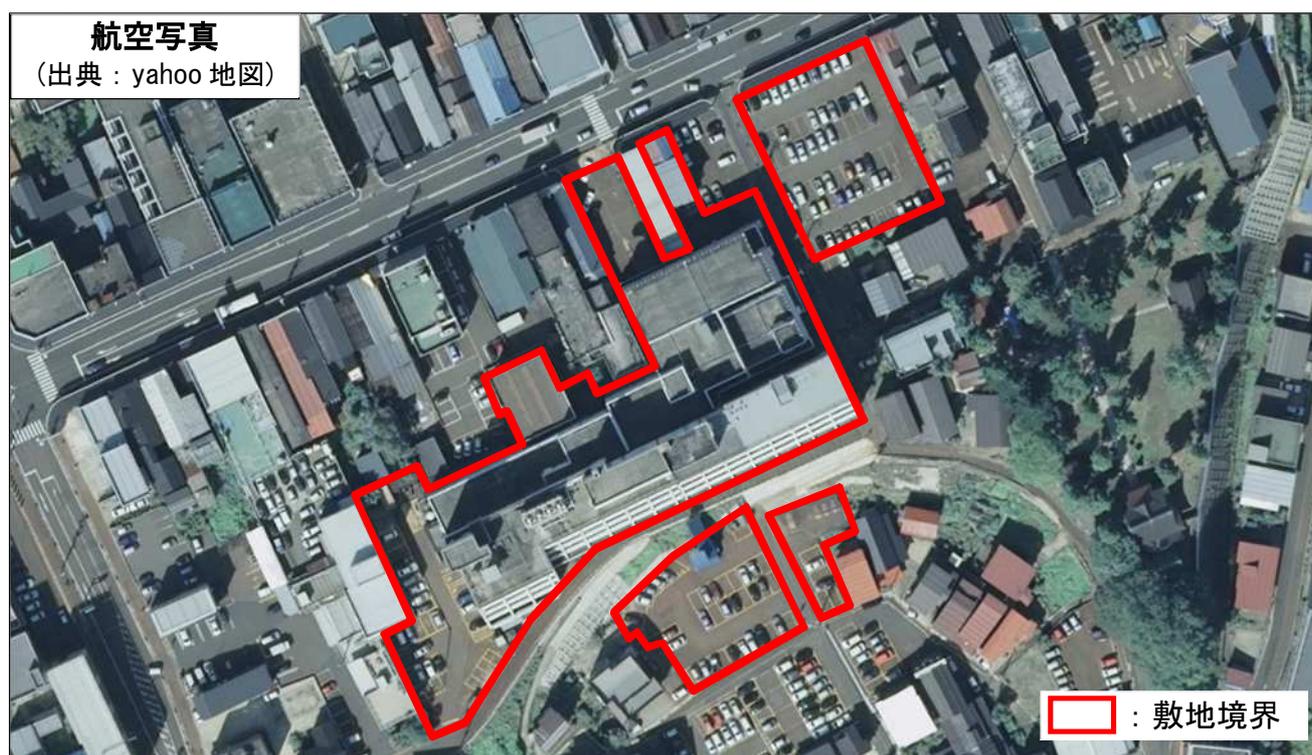
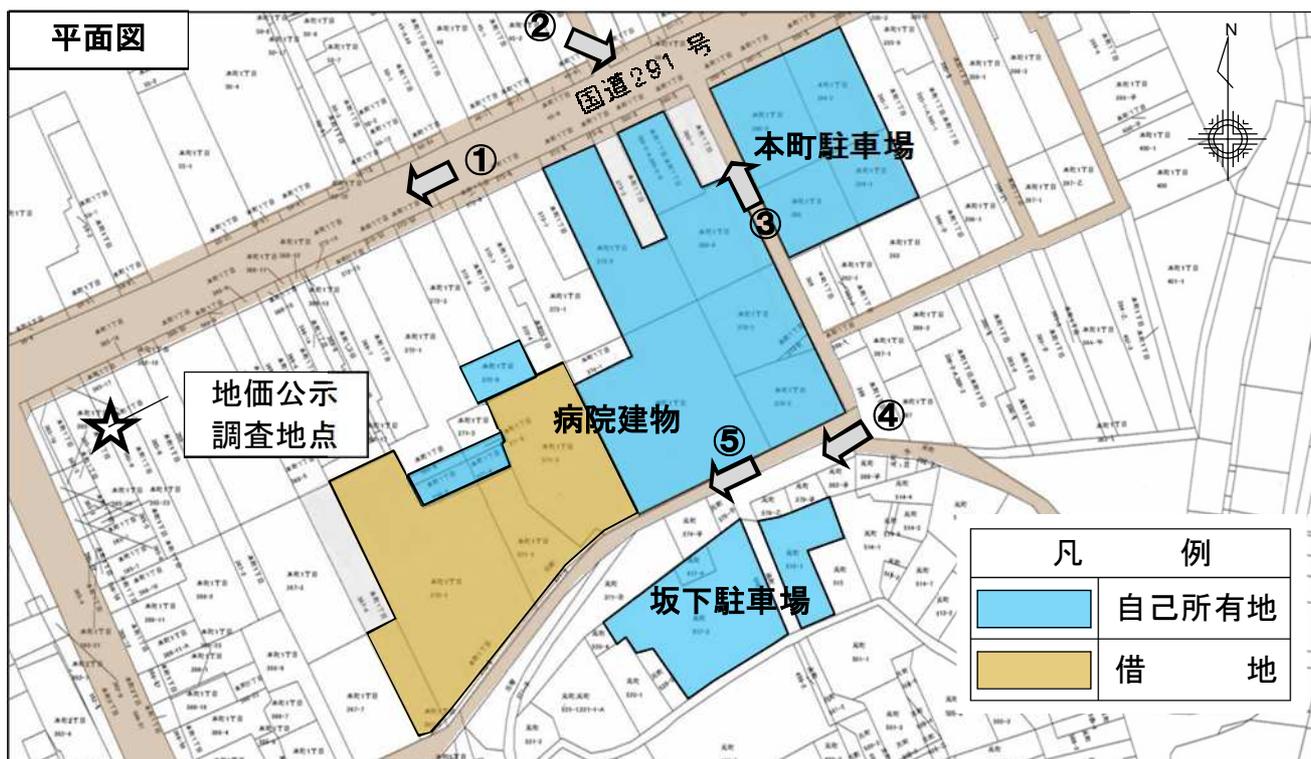
「跡地活用方針のとりまとめ」

2. 計画対象地の状況等

(1) 敷地の状況

建物が建っている敷地は、自己所有地と借地に分かれ、敷地の形状としては前面道路に接しない部分もあります。

本町駐車場は前面道路に接しているため、まとまった活用が可能です。また、坂下駐車場はマイカーの利用が見込まれます。



所在地	小千谷市本町1丁目13-36周辺
対象地の面積	小千谷総合病院 全敷地面積：5,610.79㎡（駐車場は除く） うち、自己所有地：3,044.37㎡ 借地：2,566.42㎡
都市計画制限	商業地域（容積率400%、建ぺい率80%）、準防火地域
接道条件	北側：幅員18m（国道291号） 東側：幅員約3.7m（市道二荒坂線） 南側：幅員約3.5m～5.0m（市道下夕町2号線）
地価（周辺）	56,700円/㎡（平成27年地価公示(国)）

① 国道291号



② 本町駐車場



③ 病院と本町駐車場間の市道



④ 坂下駐車場



⑤ 病院南側の市道



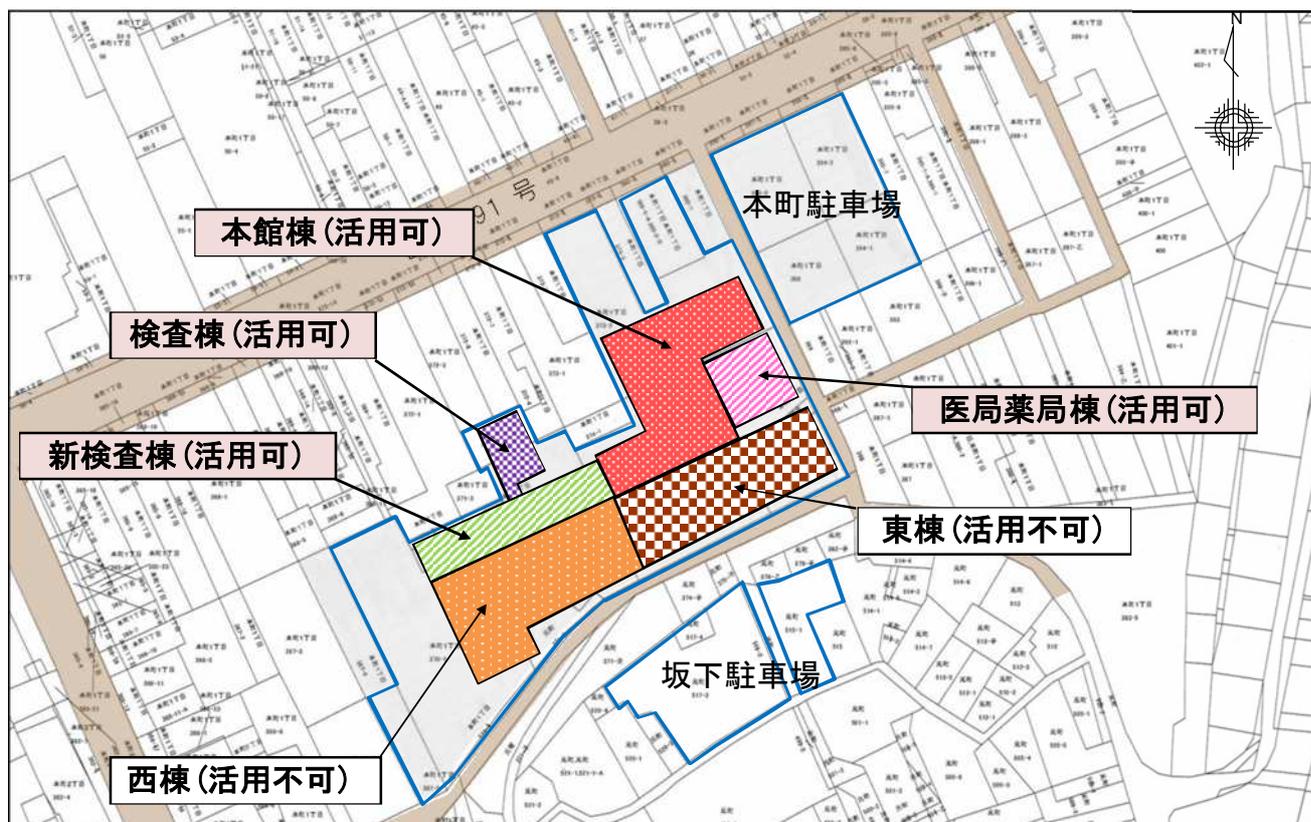
屋上からの景色



(2) 建築物の条件

対象地内の既存建物のうち、検査棟、本館、新検査棟、医局薬局棟については耐震性に問題がなく、跡地活用の内容によっては活用が可能です。一方、西棟、東棟は現在の耐震基準を満たしておらず、跡地活用にあたっては取り壊しが前提となります。

棟名	建築年	構造	階数	延べ面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	耐震改修	借地状況
 検査棟	H17年	軽量鉄骨造	地上2階	433.16	216.58	新耐震基準 以降の建物	混在
 本館棟	H2年	鉄筋コンク リート造	地下1階 地上5階	3,905.57	988.91	新耐震基準 以降の建物	自己保有
 新検査棟	S63年	鉄筋コンク リート造	地下1階 地上4階	1,699.85	482.91	新耐震基準 以降の建物	借地
 医局薬局棟	S57年	鉄筋コンク リート造	地下1階 地上3階	851.82	234.43	新耐震基準 以降の建物	自己保有
 西棟	S55年	鉄筋コンク リート造	地下2階 地上8階	7,754.56	951.39	未	借地
 東棟	S44年	鉄筋コンク リート造	地下1階 地上8階	5,189.00	717.48	未	自己保有
合 計				19,833.96	3,591.70	-	-

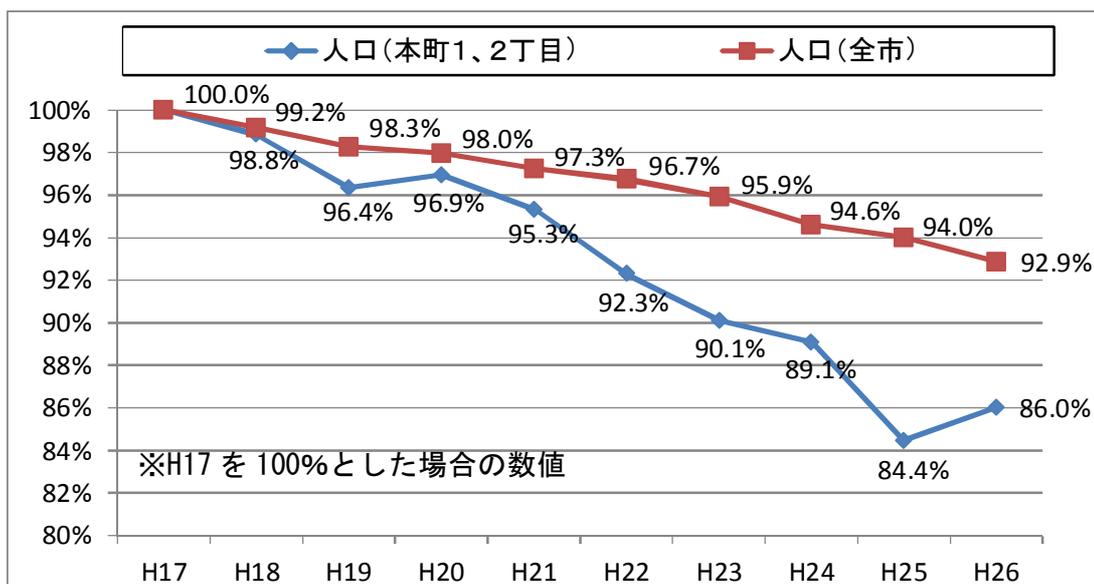


3. 計画対象地付近の現況と位置付け

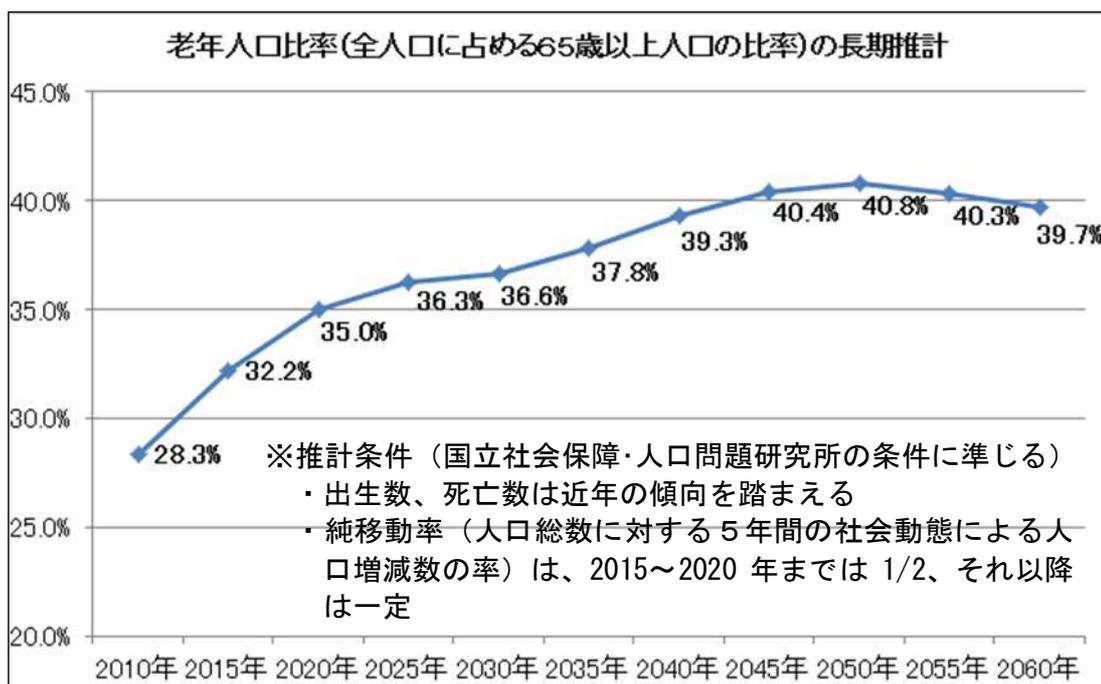
(1) 対象地付近の現況

① 人口の動態

- ・本町1・2丁目、全市ともに人口は年々減少しているが、全市より本町1・2丁目の方が減少率は大きい
- ・小千谷市全体の老年人口比率は、2010年(平成22年)の28.3%から2050年(平成62年)には40.8%まで上昇し、その後は相対的に減少すると推計されている



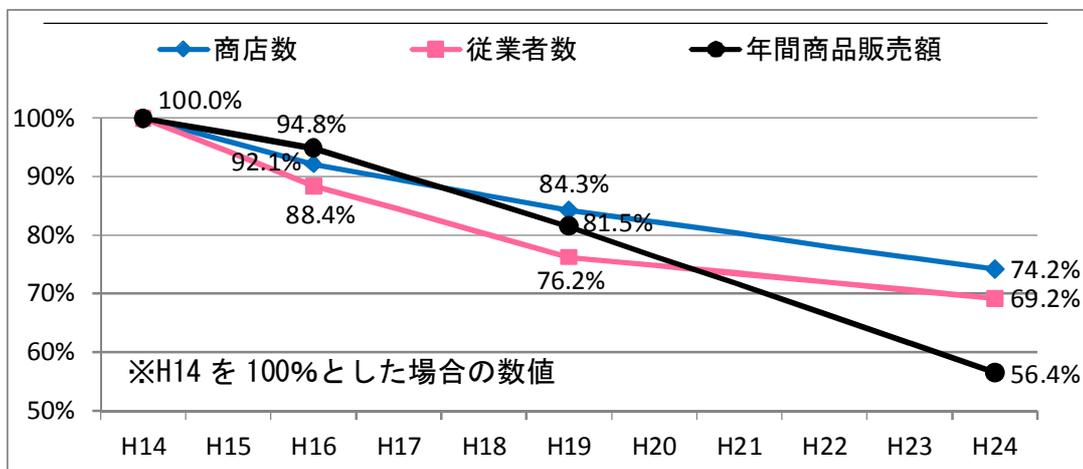
グラフ 過去10年間における本町と全市の人口推移
(住民基本台帳、各年3月31日時点)



グラフ 老年人口比率の長期推計
(小千谷市人口ビジョン調査分析中間報告書より)

② 商業の状況

- ・小千谷市の小売商業施設は国道 117 号沿道を中心に立地（10 頁の分布図を参照）
- ・計画対象地付近の商店街（本町商店街及び平成商店街）では、商店数、従業員数、年間商品販売額がいずれも減少しており、空き店舗も目立つ



グラフ 商店街（本町+平成）の商店数、従業員数、販売額の推移
（商業統計調査及び経済センサス）

③ 交通の状況

- ・計画対象地付近のバス停には、10 系統、164 便（平日 1 日あたり上下の合計）の路線バスが運行しており、AM 6～8 時のピーク時には 12.3 便/h と多頻度に運行

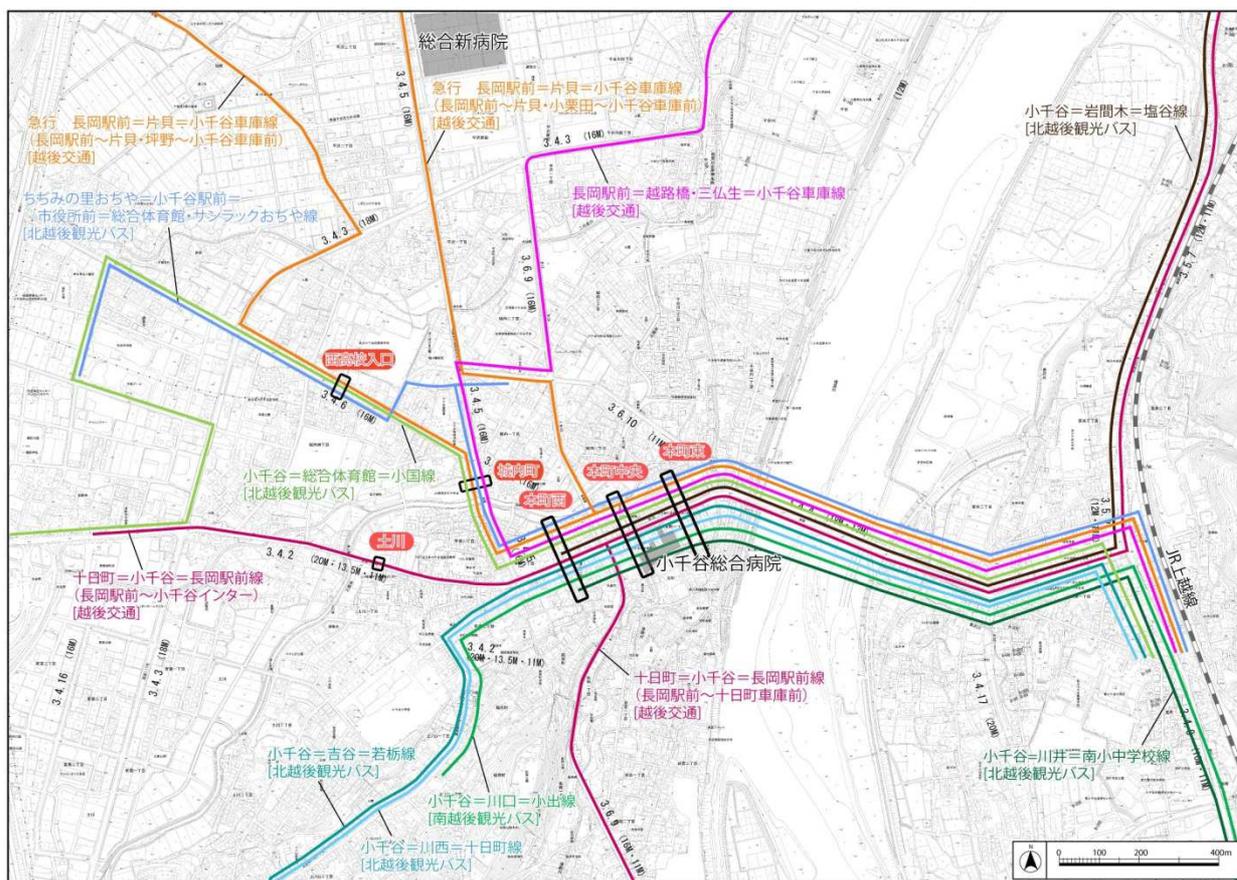


図 路線バス系統図

④ 公共公益施設の状況

- ・図書館は新耐震基準(S56)以前に建てられたため、耐震性能が不足
- ・楽集館や分庁舎など文化財や古文書等を収集、保管する施設はあるが、活用できる郷土資料館的な施設がない
- ・都市計画公園が4箇所、都市公園が10箇所整備されているが、計画対象地付近には公園がない(10頁の分布図を参照)

表 公共公益施設一覧(分布状況は10頁の分布図を参照)

施設名	建築年	敷地面積(m ²)	建築面積(m ²)	延床面積(m ²)	構造	耐震性能の有無
市役所本庁舎	S44	10,946	1,345	5,046	鉄筋コンクリート4階	有
市役所分庁舎	S61	1,497	641	641	鉄筋コンクリート平屋	有
図書館	S52	1,420	791	1,652	鉄筋コンクリート3階	無
教育センター	S48	323	137	441	鉄筋コンクリート3階	有
総合体育館	H8	39,800	6,602	11,240	鉄筋コンクリート一部鉄骨3階	有
健康センター	S54	3,013	492	1,005	鉄筋コンクリート2階	有
総合福祉センター サンラックおぢや	H4	4,672	1,543	3,134	鉄筋コンクリート3階	有
西保育園	S50	2,482	449	689	鉄筋コンクリート2階	有
北保育園	S49	1,204	356	538	鉄筋コンクリート2階	有
南保育園	S54	2,364	474	776	鉄筋コンクリート2階	有
子育て支援センター わんパーク	H6	731	258	546	軽量鉄骨2階	有
市民会館	S48	1,764	1,192	3,033	鉄筋コンクリート4階 (一部3階)	補強工事の 予定あり
			会議室			
			その他			
			学童保育あおぞら 会議室を使用			
楽集館	S63	13,471	156	2,041	鉄筋コンクリート3階	有
			学習室			
			交流展示室			
サンラザ	S57	5,532	476	3,971	鉄筋コンクリート3階	有
			会議室			
			その他			
錦鯉の里	H1	2,532	598	598	鉄筋コンクリート平屋	有

⑤ 景観の状況

- ・計画対象地南側の道路や病院屋上から越後三山(八海山、越後駒ヶ岳、中ノ岳)や朝日山、信濃川などの自然景観を眺めることが出来る



写真 病院屋上から見た朝日山と信濃川

(2) 対象地付近の位置づけ

① 小千谷都市計画マスタープラン（平成25年3月）における位置づけ

◆ 小千谷市全体の都市づくりのテーマ ◆

個性が輝く創造と交流の都市 小千谷

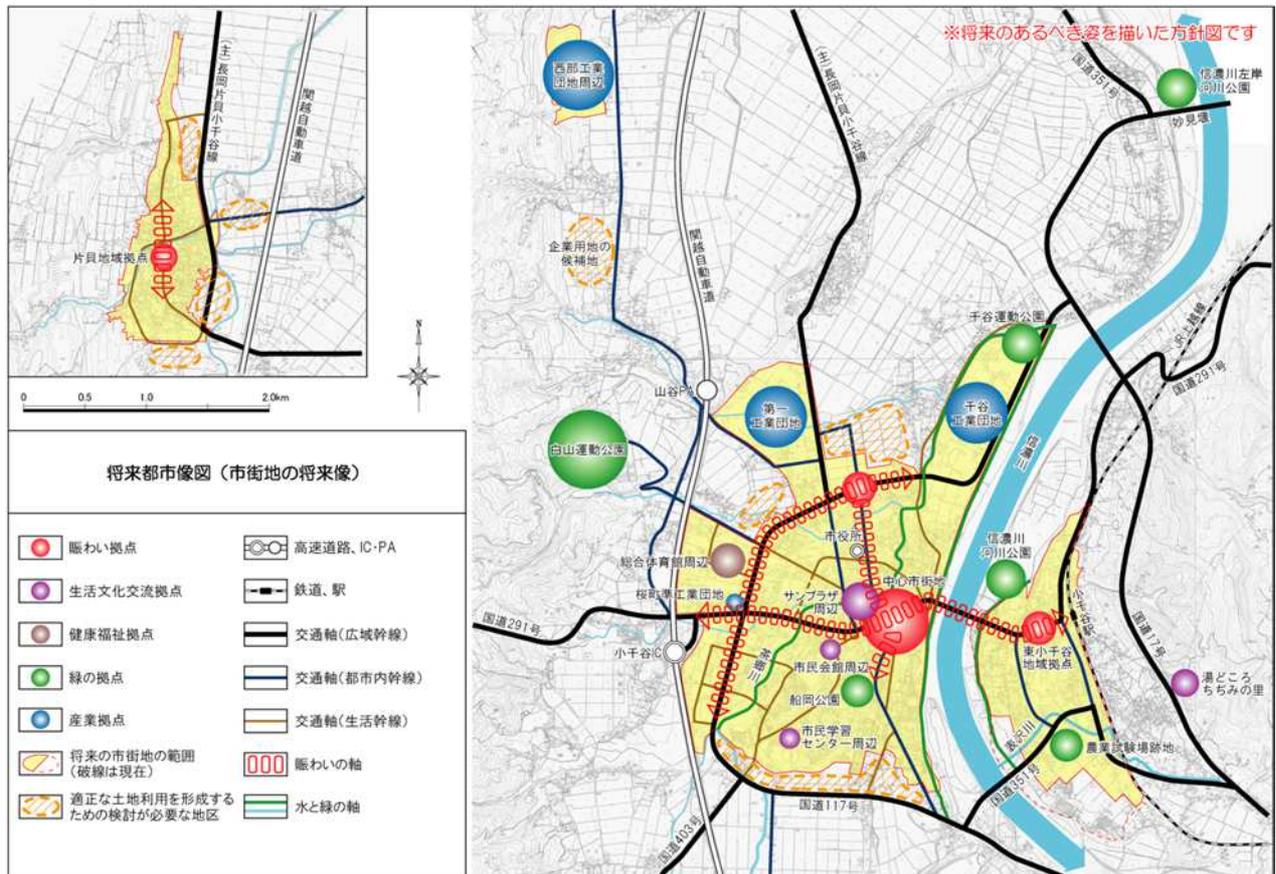
◆ 小千谷総合病院跡地付近の将来都市像 ◆

- ・ 本町周辺は、商業・業務機能の強化を図るとともに、小千谷総合病院跡地を有効活用し、本市の中心市街地にふさわしい賑わいのある拠点づくりを進めます。

◆ 小千谷総合病院跡地に係るまちづくり方針 ◆

- ・ 既存商店街やサンプラーザー帯の中心市街地では、本市の顔となる場所として、また、地域生活の拠点となる場所として、商店街の活性化を図りながら、歴史や伝統文化、自然を活かした魅力づくりを図ります。

- 商店街の活性化（魅力ある商店街づくり、空き店舗対策等）
- 空き家や空き地等を利用した身近な憩いや交流の場づくり
- 小千谷総合病院跡地の活用の検討
- 商店街の景観整備
- 楽しみながら安心して歩ける歩道空間の整備、花や緑等による演出

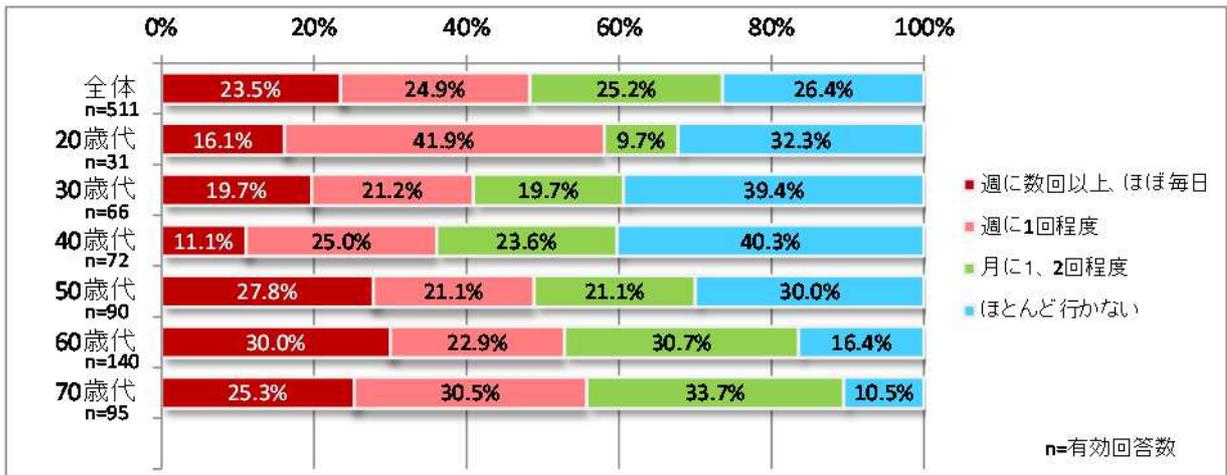


② 「まちづくりに関する市民意向調査」における市民ニーズ

調査概要 実施期間：平成 25 年 10 月～11 月
 対象者：市内に住む 20 歳代～70 歳代の男女
 回収票数：524 票（回収率 52.4%）

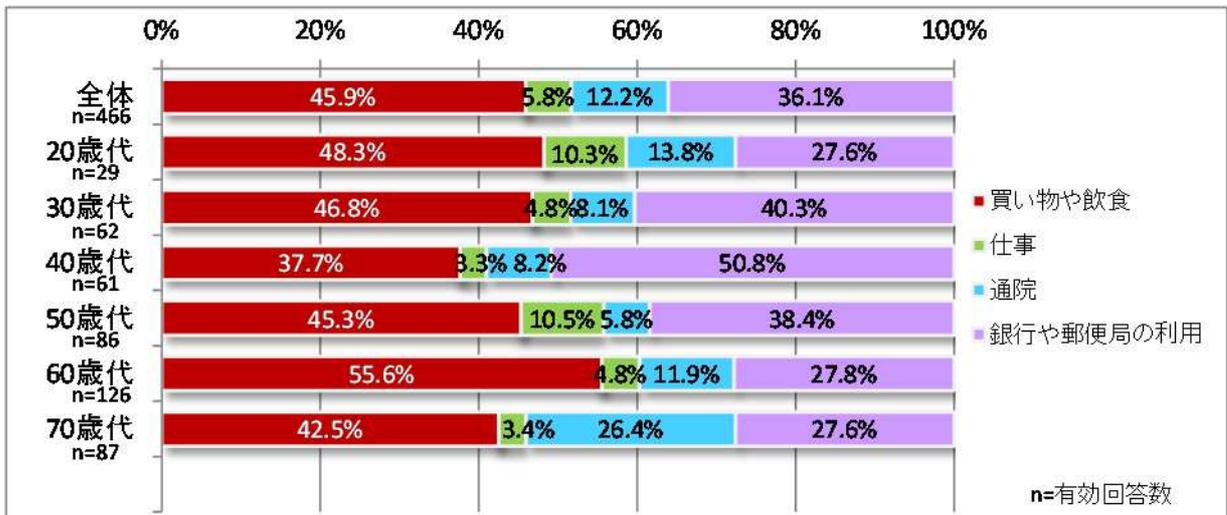
◆中心市街地への来訪頻度

- ・ 中心市街地に週 1 回以上訪れる方は、20 歳代、60 歳代、70 歳代で 5 割を超える
- ・ 一方、30 歳代、40 歳代の 4 割程度が、中心市街地にほとんど行かない



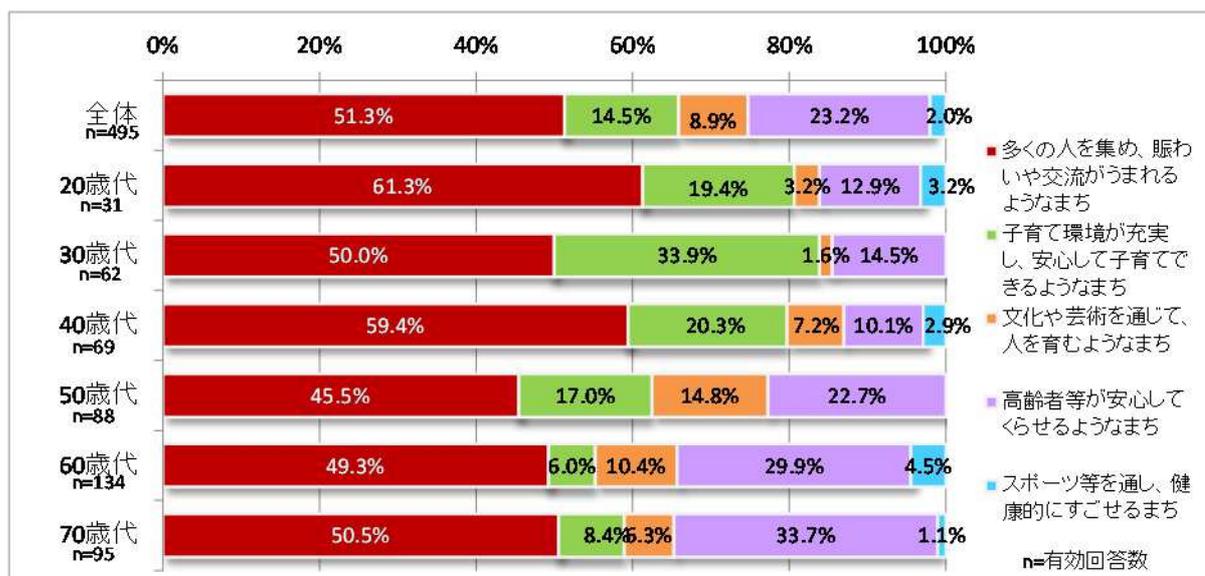
◆中心市街地に訪れる目的

- ・ 全ての年代で「買い物や飲食」、「銀行や郵便局の利用」を目的とする方が多い
- ・ 70 歳代は「通院」を目的とする割合が他の年代よりも高い



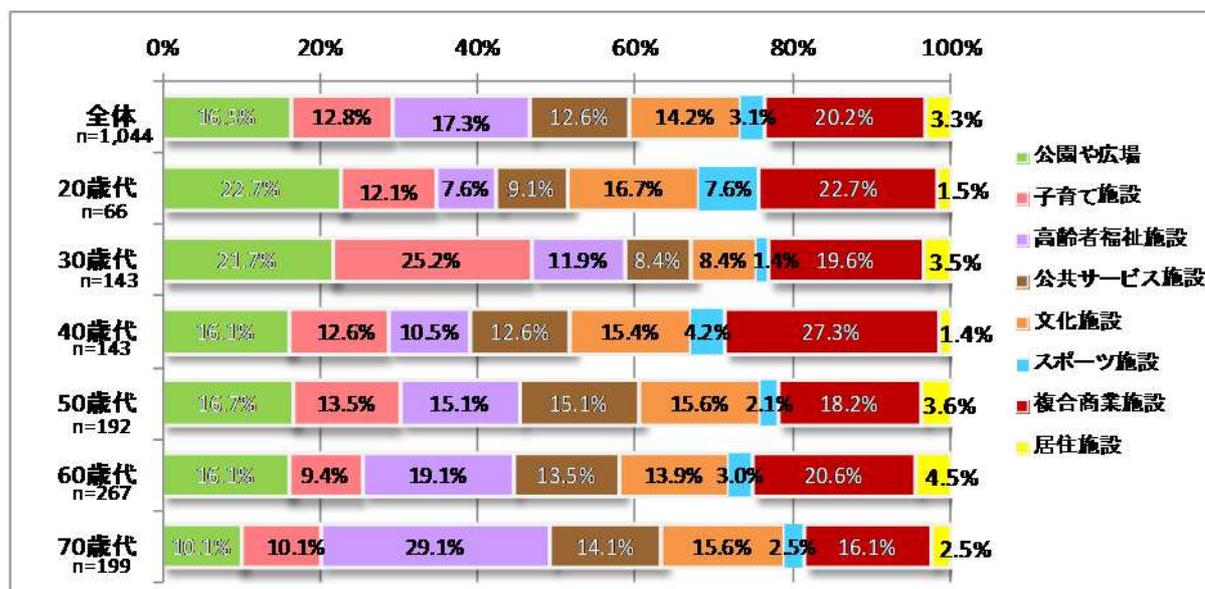
◆中心市街地に望ましいまちの姿

- ・全体的な傾向としては、「多くの人を集め、賑わいや交流が生まれるようなまち」が最も多い
- ・次いで多いのは、50歳代から70歳代が「高齢者等が安心して暮らせるようなまち」、20歳代から40歳代が「子育て環境が充実し、安心して子育てができるようなまち」



◆中心市街地に望ましい施設整備

- ・全体的な傾向としては、大差はないものの「複合商業施設」を望む方が最も多い
- ・30歳代では「子育て施設」、70歳代では「高齢者福祉施設」の割合が他の年代よりも高い

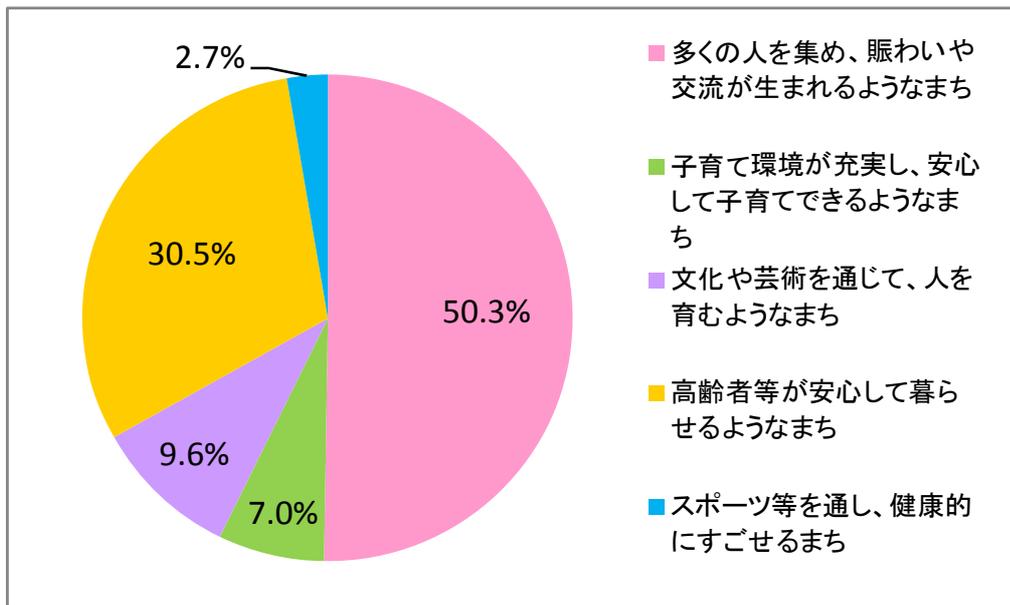


③ 「小千谷総合病院跡地利用についてのアンケート調査」における市民ニーズ

調査概要 実施期間：平成 25 年 12 月
 対象者：本町町内の全世帯
 回収票数：198 票（回収率 70.2%）

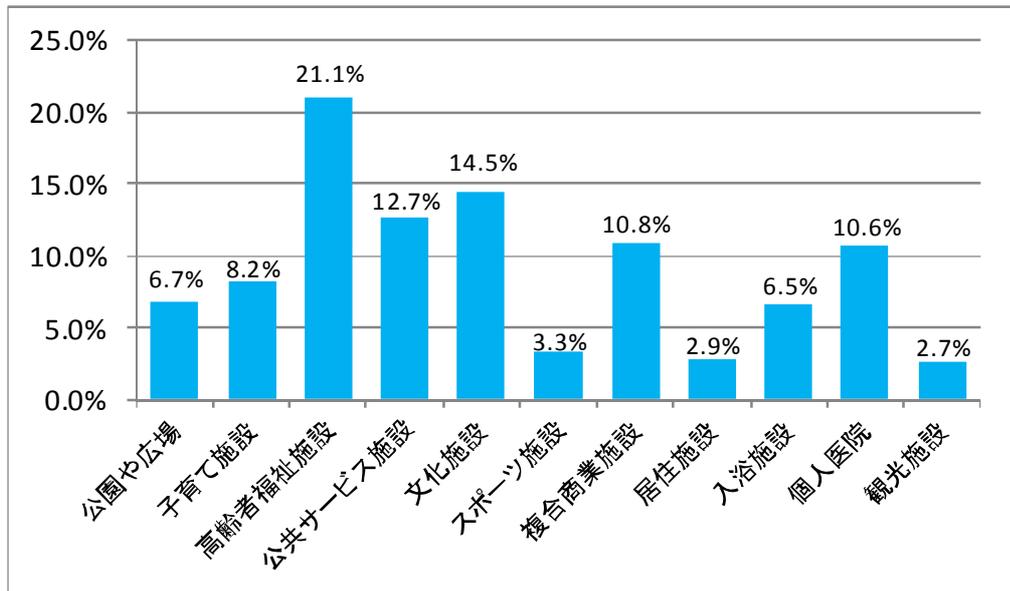
◆本町に望ましいまちの姿

・「多くの人を集め、賑わいや交流が生まれるようなまち」が最も多く、次いで「高齢者等が安心して暮らせるようなまち」が多い

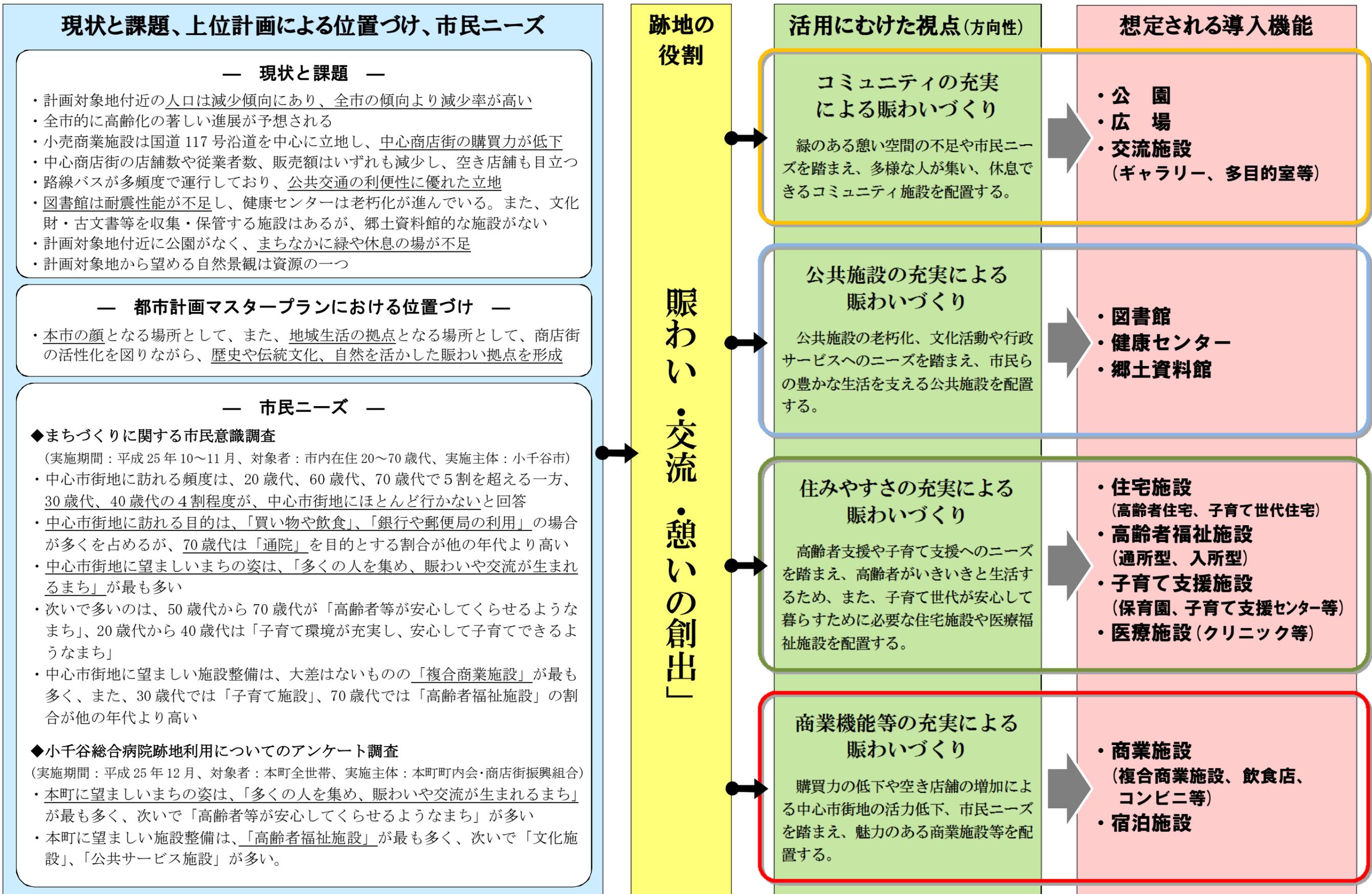


◆本町に望ましい施設整備

・「高齢者福祉施設」が最も多く、次いで「文化施設」、「公共サービス施設」が多い



4. 跡地活用の基本的方向性



5. 先進地視察の結果報告

(1) 先進地視察の目的

都市としての人口規模や地理的条件、また、敷地規模が似ている岩手県紫波町の「オガールプラザ」を視察し、図書館や民間テナントなどで構成される官民複合施設としての作り方や運営方法、担い手の関わり方などを学び、機能複合のイメージを膨らませることを目的に先進地視察を実施しました。

(2) 実施概要

- 日時 平成27年11月4日(水)、5日(木)
- 場所 オガールプラザ（岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前2丁目）
- 参加者 検討委員9名、図書館職員2名、事務局4名

エリア全体図



(3) 視察のまとめ（ポイント）

○図書館を核とした幅広い取り組みの展開

- ・企画展示、連携企画(広場と連携したビアフェストなど)、農業のビジネス支援

○施設の複合化による相乗効果

- ・カフェを利用した人がちょっと覗いてみようかと図書館を訪れる
- ・広場や飲食店があり、ファミリーで訪れて一日過ごすことができる

○担い手としての市民の関わり

- ・キーパーソンが存在が様々なプロジェクトを展開するきっかけに
- ・連携企画は町民等からの提案を受けて実施

○民間活力の導入

- ・第3セクターが官民連携のエージェントとして機能
- ・設計に関するアイデア提案の募集、事業者選定コンペの2段階で事業者を募集

○身の丈に合ったリスクの少ない不動産開発

- ・商圈としてのポテンシャル、誘致可能なテナント数などを踏まえた施設計画
- ・想定利回りの実現できる工事価格の設定(華美、過大な施設は作らない)

(4) 視察の記録

視察①「図書館(情報交流館)コース」

日 時	平成27年11月4日(水) 14:00～16:00
視察内容	プレゼンテーション60分、質疑応答15分、館内視察45分
プレゼン内容	オガールプロジェクトにおける図書館の役割 図書館の概要 情報交流館(図書館+地域交流センター)の概要

◆プレゼンテーション(紫波町情報交流館・図書館 工藤館長、堀内氏)

(以下、ポイントのみ)

- オガール地区はまちの繋がりを意識して開発(紫波中央駅⇄オガール⇄農村集落)
- オガールプラザは、施設の建設、所有、維持管理を目的に設立されたオガールプラザ(株)が事業主体
- 紫波町が運営する図書館・交流館の管理運営費は、オガールプラザからの借地料、固定資産税、施設利用者の使用料、寄付によりその一部を賄っている
- 建物構造は木造を基本とし、天井を設けないなど建設コストを抑制
- 企画展示や連携企画(ビアフェスト、夜のとしょかん等)を幅広く展開
- 紫波町の基幹産業である農業のビジネス支援も実施
- 図書館の利用者は40代、30代、小学生の順が多い
- 自動貸出機、取り置きした図書を時間外に貸し出しできる貸出ロッカーが有る



◆質疑応答

- ・地域交流センターの音楽スタジオはどのように利用されているか。
→軽音楽(バンド等)での利用が最も多く、ピアノやバイオリンの発表会前の練習場としても利用されている。また、企業の面接会場として使われることもある。
- ・図書館で開催されている連携企画の回数は。
→連携企画は町民から提案を募って開催しており、年間11回である。
- ・図書館の登録者数は30代、40代が多いがその理由は。
→ファミリーで訪れて一日過ごすといった滞在型の使われ方が認知されてきた。
- ・小学生の利用が多いが、どのような手段で訪れるのか。
→オガールプラザ内にある子育て応援センター「しわっせ」では学童保育を行っている。また、週末はファミリーで訪れることが多い。
- ・選書を行っている図書館司書は紫波町出身の方か。
→全国で経験のある方で、県外出身である。
- ・図書館が実施する事業は公民館事業に近い感じがあるが、公民館事業とのすみ分けは図られているのか。
→公民館は地域の生涯学習の場であるが、図書館は町外からの利用も視野に取り組ん

でいる。

- ・オガールプラザに訪れた方の多くが図書館にも足を運んでいるがその理由は。
→複合型の施設であることが一番の要因である。カフェを利用した人がちょっと覗いてみようかといった相乗効果が生まれている。
→これまで紫波町にはなかったサードプレイス（自宅と職場の間にある居場所）の役割を果たしている。
- ・オガールプラザ前の広場、居酒屋との併設がとても印象的である。
→広場では、あずまやで学生が勉強したり、休みの日は朝からバーベキューを楽しむなど、様々な使い方がなされている。
→居酒屋はオガールプラザの稼ぎ頭である。公共施設と居酒屋の複合はPPPのなせる業であり、行政主体では難しいと思われる。
- ・テナントは地元企業が多いのか。
→テナントは町外の企業である。
→オガールプラザでは100人、オガールベースでは70人の新規雇用が創出された。
- ・洗練されたデザインも印象的である。
→都市計画、建築、ランドスケープ及び情報デザイン4分野の専門家によるデザイン会議の存在が大きい。

視察②「オガール標準コース」

日 時	平成27年11月5日(木) 9:30~11:45
視察内容	プレゼンテーション75分、質疑応答15分、エリア内視察45分
プレゼン内容	オガール紫波(株)の概要 オガールプラザ、オガールベース、オガールタウンの概要

◆プレゼンテーション（オガール紫波(株) 元職員 中村氏）

（以下、ポイントのみ）

- オガールプロジェクトの開発理念『都市と農村の暮らしを「愉しみ」、環境や景観に配慮したまちづくりを表現する場にする』
- エリア内施設の概要は以下の通り
 - A街区 オガールベース(H26.7オープン)
事業主体：オガールベース(株)
 - B街区 オガールプラザ(H24.6オープン)
事業主体：オガールプラザ(株)、紫波町(完成後、図書館等を買取)
 - C街区 役場庁舎(H27.5オープン)
事業主体：紫波町(PFI手法を活用)
 - D街区 エネルギーステーション(H26.7完成)
事業主体：紫波グリーンエネルギー(株)
 - その他 オガールタウン(H25秋から販売し57戸中17戸契約) 事業主体：紫波町
岩手県フットボールセンター(H23.4オープン) 事業主体：(社)岩手県サッカー協会



- 請願駅である紫波中央駅の開業(H10.3)が事の始まり
- 首長のリーダーシップ、キーパーソン岡崎正信氏の存在が、長年塩漬けであった町有地 10.7ha の利活用を含めたプロジェクトを動かす
- 官と民が連携するためのエージェントとして第3セクター「オガール紫波(株)」を設立
- 「町民の財産である町有地を安売りしない」ことを目的に、不動産としての価値を高めることを重要視
- 従来手法とは反対の逆算方式でリスクの少ない不動産開発を実践
 - ①商圏としてのポテンシャルや家賃相場を確認・調査した上でテナント誘致
 - ②容積率を条件とするのではなく、テナントの入居等に必要な床面積を設定
 - ③想定利回りの実現できる工事価格を設定（華美、過大な施設は作らない）
- 事業主体のうち、オガールプラザ(株)は特別目的会社であるが、その他は純然たる民間

◆質疑応答

- ・ エネルギーステーションから供給される熱を道路や駐車場の融雪に利用しているか。
 - エネルギーステーション導入後に整備されたオガールベース、役場庁舎、オガールタウンのみで利用されている。
- ・ オガールプロジェクト開始から現在までの紫波町の支出額はどの程度か。
 - 約 60 億円であり、そのうち役場庁舎建設に 33.8 億円、残りはインフラ整備、オガールプラザ中央棟の買取などに要した。
- ・ 税収としてどの程度の効果があったか。
 - 建物ごとに異なるが、オガールプラザでは固定資産税が 280 万円、その他地代収入もある。オガールベースはまだ課税されていない。
- ・ 役場庁舎の P F I 事業で採用した事業方式は何か。
 - B T Oである（建設・資金調達を民間が担って、完成後は所有権を公共に移転し、その後は一定期間、運営を同一の民間に委ねる方式）。
- ・ 各事業主体の株式の構成は。紫波町はどの程度関わっているのか。
 - オガールプラザ(株)は紫波町とオガール紫波(株)が出資している。その他は民間企業であり、紫波町は関与していない。
- ・ 業者の選定、契約はどのような形で行ったのか。
 - 業者の選定は、「設計業務に関するアイデア提案の募集(R F Q)」、「事業者選定コンペ(R F P)」の 2 段階で実施し、選定された業者と事業主体が随意契約を結んでいる。
 - 紫波町が図書館等を買収する際は不動産鑑定士の指導を仰いだ。

現地写真

外観

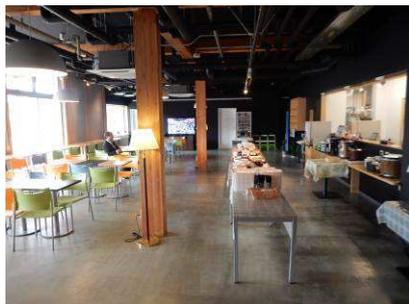


広場等



A街区『オガールベース』

- ・オガールイン（ビジネスホテル）



- ・ARENA（バレーボール専用体育館）



B街区『オパールプラザ』

・図書館



・地域交流センター



・紫波マルシェ



・その他（子育て応援センター「しわっせ」、民間テナント）



その他

役場庁舎



オガールタウン



岩手県フットボールセンター



6. 市民ワークショップの結果報告

(1) 市民ワークショップの目的

病院跡地における図書館を核とした使い方や過ごし方、関わり方について市民の方からアイデアをいただき、今後の施設計画の参考にすること、また、ワークショップを通じて、病院跡地の利活用や本町商店街、西小千谷地区のまちづくりに対する関心や期待感を高めるとともに、施設の利用や運営の担い手育成のきっかけにすることを目的にワークショップを開催しました。

(2) 開催概要

- 日時 平成28年1月9日(土) 13:30 ~ 16:30
- 場所 サンプラザ3階大ホール
- 主催者 西小千谷地区市街地まちづくり基本計画検討委員会
- 参加者数 89名
(内訳 中学生4名、高校生14名、大学生1名、一般61名、検討委員9名)
- ワークショップのテーマ

「図書館^{かける}×○○」で何が生まれ、どんなことができる？

○ 当日のスケジュール

13:30- 13:35	開会あいさつ
13:35- 13:55	これまでの検討経緯、ワークショップの進め方の説明
13:55- 16:25	ワークショップ
16:25- 16:30	閉会

○ ワークショップの時間割

13 : 55ー 14 : 20	<p>テーブルワーク① 25分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『何をしたい？どのように過ごしたい？どう関わりたい？』について、全員に発表していただきます ・自分の意見、印象に残った他の参加者の意見は、ポストイットカードに記入し、テーブルに貼ってください ・カフェマスター1人を残し、他の方は別のテーブルに移動します ※カフェマスターは事前をお願いしてあります。
14 : 20ー 14 : 25	<p>テーブル移動 5分</p> <p>テーブルワーク①のメンバーと重複しないように！</p>
14 : 25ー 14 : 50	<p>テーブルワーク② 25分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カフェマスターはテーブルワーク①で出た意見を皆さんに説明してください ・テーブルワーク①と同様、全員が意見を発表し、ポストイットカードに記入してください ・カフェマスター1人を残し、他の方は別のテーブルに移動します
14 : 50ー 14 : 55	<p>テーブル移動 5分</p> <p>テーブルワーク①のテーブルに戻る！</p>
14 : 55ー 15 : 40	<p>テーブルワーク③ 45分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カフェマスターを含めた参加者全員が、これまでのテーブルワークでの意見を発表し、皆で共有します ・各テーブルで「みんなでやってみたいこと」「そのために必要なもの」を2つとりまとめる ・本日のまとめとして、皆さんに配布した「まとめシート」に各自記入してください
15 : 40ー 15 : 50	<p>休憩 10分</p>
15 : 50ー 16 : 15	<p>人気投票 25分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者全員のまとめシートを会場内に貼り出すので、自分のシート以外で最も印象に残ったシートにシールを貼ってください
16 : 15ー 16 : 25	<p>ふりかえり 10分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日のワークショップのふりかえり

(3) まとめシートの集計結果

参加者各自のまとめシートを意見種別ごとに集計した結果は以下の通りです。

特に、「くつろぐ、ゆっくりする」、「いろんなことができる」、「情報を発信する」、「趣味を楽しむ」に関する意見を多くいただきました。

意見分類 意見種別	A	B	C	D	E	F	G	合計
①くつろぐ、 ゆっくりする	7	2	1	0	3	0	0	13
②いろんなこと ができる	2	1	0	1	1	2	2	9
③情報を発信す る	0	0	1	1	0	6	0	8
④趣味を楽しむ	4	0	0	0	0	4	0	8
⑤勉強、学習す る	4	1	0	0	0	1	0	6
⑥景色や自然を 楽しむ	0	1	1	0	0	3	0	5
⑦相談する	0	0	0	0	0	4	1	5
⑧子育てを楽し む	3	0	0	0	1	1	0	5
⑨体験する	2	1	0	0	0	2	0	5
⑩様々な人達と 交流する	1	0	0	1	1	2	0	5
⑪活動の拠点に する	0	1	0	0	0	2	2	5
⑫運動する	2	0	0	0	0	1	0	3
⑬その他	2	0	0	1	0	3	3	9
合 計	27	7	3	4	6	31	8	86

意見分類

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| A. 図書館(の中)で〇〇する(したい) | E. 〇〇しながら△△する |
| B. 図書館の本や施設とコラボして〇〇する | F. 図書館とは別に〇〇する |
| C. 図書館に寄ったついでに〇〇する | G. あてはまらない、枠を突き抜きたい |
| D. 図書館に来る人をつかまえて(一緒に)〇〇する | |

意見種別ごとの主な意見は次の通りです。

なお、まとめシートに記載されたご意見は、参考資料 36 頁から 44 頁を参照してください。

①くつろぐ、ゆっくりする

- ・ ゆっくり本を読む
- ・ カフェでくつろぐ
- ・ お酒を飲みながら本を読む
- ・ 座り心地のよいソファに座っておしゃべり
- ・ 景色を眺めながらゆっくりする

②いろいろなことができる

- ・ 利用者の多様なニーズに応じて、様々な使い方ができる
- ・ 一日居ても飽きない
- ・ 友達と集まって騒ぐ
- ・ 様々な施設を複合する

③情報を発信する

- ・ 小千谷市の歴史、文化を観光客や市民に紹介する（西脇順三郎記念館など）
- ・ 観光情報を発信する
- ・ ミニFM局で手作りの番組を放送する
- ・ 市民向けの情報（災害など）を発信する

④趣味を楽しむ

- ・ 楽器の練習やミニコンサートを楽しむ
- ・ ダンスを練習する
- ・ 工作室で大作業をする
- ・ 料理を作って販売する
- ・ 自分の趣味を発表する

⑤勉強、学習する

- ・ 個人または友達と気軽に学習する
- ・ 子どもに図鑑の動物を実際に見せてあげる
- ・ カルチャーセンターで習い事をする

⑥景色や自然を楽しむ

- ・ 展望台から景色を眺める
- ・ 公園でお弁当を食べる
- ・ 遊歩道を散策する

⑦相談する

- ・ 子育てに関する相談をする
- ・ 子ども、障害者、高齢者など、誰もが困ったときに相談できる

⑧子育てを楽しむ

- ・ 子どもが読み聞かせなどで読書を楽しむ
- ・ 子育て世代同士が情報交換する
- ・ 子どもを通じていろいろな人と出会う

⑨体験する

- ・ 伝統工芸やロボコンなど様々なものづくりを体験する
- ・ 親と子どもと一緒に体験する

⑩様々な人達と交流する

- ・ 世代や国籍を超えて様々な人達と交流する
- ※その他キーワードにも交流の要素が多数含まれています

⑪活動の拠点にする

- ・ 市民活動や若い人たちの活動の拠点にする
- ・ 貸しオフィスや会議室として利用する

⑫運動する

- ・ 子どもが元気に遊べる
- ・ クライミングジムで多世代が運動する

⑬その他

- ・ 小千谷食べ物博物館
- ・ カプセルホテル、ビジネスホテル
- ・ いろいろな人が立ち寄れるテナント
- ・ 医療モール（個人医院の誘致） など

(4) 当日の写真

○受付



○会場全景



○テーブルワーク (計 12 テーブル)



○テーブルワーク（続き）



○テーブル移動



○人気投票



7. 跡地活用方針

(1) 導入機能について

方針1…核となる機能を“図書館”とする

【 導入機能の候補 】

- 公園、広場
- 交流施設
- 図書館
- 健康センター
- 郷土資料館
- 住宅施設
- 高齢者福祉施設
- 子育て支援施設
- 医療施設
- 商業施設
- 宿泊施設
- 淡水水族館
- 駐車場

【 絞り込みの視点 】

視点1 導入機能意向調査の結果（参考資料 34 頁参照）

- ・委員及び関係団体から導入が期待される機能を2案以内（複合施設可）で回答いただいた結果、交流施設、図書館、郷土資料館、商業施設の意見多数
- ・単独の機能ではなく機能の複合化を希望 ⇒ 図書館は他機能との複合が可能

視点2 導入可能性検証の結果（参考資料 35 頁参照）

- ・庁内関係課への意見照会、民間事業者へのヒアリングの結果、住宅施設（子育て世代）、医療施設以外は可能性「有」

視点3 跡地の役割「賑わい・交流・憩いの創出」への貢献度

- ・図書館の貸出人数は年間約 45,000 人で、返却するだけの人や借りない人も含まれば更に多くの利用者が訪れており、日常的に一定程度の利用が見込める
- ・また、年齢や性別等に限定されず、多世代の方が利用できる

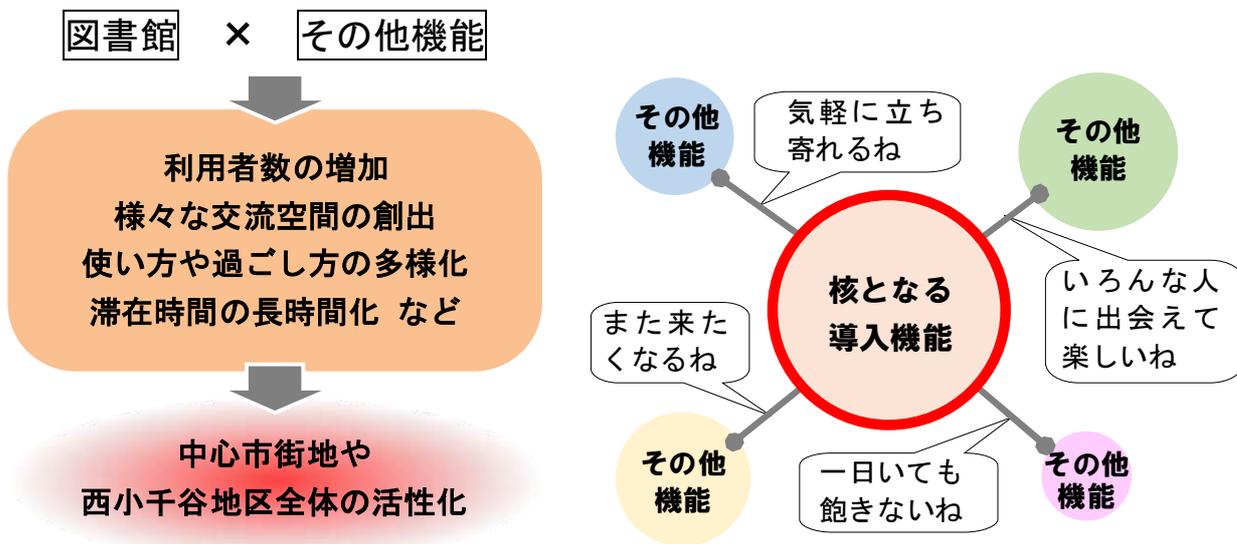
核となる機能は“図書館”

行政課題

- ・現在の図書館は耐震性能の不足、手狭、老朽化といった問題があり、現状のまま施設を存続させることは困難

方針2…機能(施設)を複合することにより相乗効果を生み出す

【期待される相乗効果】



【参考】 その他機能のイメージ (市民ワークショップでいただいた意見より)

意見種別	やってみたいこと	機能(施設)
くつろぐ、ゆっくりする	ゆっくり本を読む	カフェ
いろんなことができる	利用者の多様なニーズに応じて、様々な使い方ができる	多目的スペース
情報を発信する	小千谷市の歴史、文化を観光客や市民に紹介する	交流館 西脇順三郎記念館
趣味を楽しむ	楽器やダンスを練習する	防音処理された練習スタジオ

(2) 実現に向けたポイント

◆担い手としての市民等の関わり

新たな施設が輝きを放つためには、市民や市民団体の方が各々のニーズに応じて施設を使いこなしていくこと、また、そのために管理運営に主体的に関わる必要と考えます。

市民ワークショップでは、老若男女たくさんの方に参加いただき、病院跡地の活用や今後の本町商店街、西小千谷地区のあり方に対する高い関心が窺えました。

今後は、この関心の高さを活かして、意欲ある市民等が施設の担い手として積極的な関わりを持てるような仕組み、さらには、主体的に関わる人材を育成、発掘する仕掛けづくりの検討が望まれます。



写真 ガールズガの連携企画
「絵本の中のクッキング」
(出典：紫波町HP)

◆民間活力との連携

人口減少、少子高齢化の進展に伴い、小千谷市の財政を取り巻く状況は厳しくなることが予想されます。そのような中、図書館を核とした施設を存続させていくためには、民間事業者の施設経営の視点を取り入れ、自立した施設とすることが重要です。

そのため、今後の計画、実施、管理運営の各段階において民間事業者のノウハウ等を活かせる仕組みづくりを検討するなど、民間活力との連携を視野に入れて取り組むことが望まれます。

◆身の丈に合った施設整備

利用者やサービス提供側の需要、見込まれる収入に対して過大な施設を作った場合、いずれ破綻を迎えてしまうことが容易に想像できます。

今後の施設計画にあたっては、需要を十分に踏まえ、造り方に工夫を凝らすことによって、身の丈に合ったリスクの少ない施設整備を目指すことが望まれます。



写真 オガールインの内装

◆誇りの持てる空間づくりの実現

前述の3つのポイントを踏まえ、多様な使い方や過ごし方、活かし方が体現でき、市外にも誇れる施設にすることが望まれます。

◆敷地や既存建物の適切な取り扱い

現在の小千谷総合病院の敷地は、病院の自己所有地と借地が混在しており、また、既存建物の中には新耐震基準を満たし構造的には利用可能なものもあります。

これら敷地や既存建物の取り扱いについては、今後具体化する施設計画や市の財政状況などを踏まえる中で適切に判断することが望まれます。

参考資料

■ 西小千谷地区市街地まちづくり基本計画検討委員会委員名簿

- ① 選定方法（市長委嘱）
- ② 選任年月日（平成27年5月18日）
- ③ 任期満了日（平成28年3月31日）
- ④ 定数（12人以内）
- ⑤ 根拠法令（西小千谷地区市街地まちづくり基本計画検討委員会設置要綱）

区 分	氏 名	勤務先又は職業等
学 識 経 験 者	澤田 雅浩	長岡造形大学 准教授
各 種 団 体 の 代 表 者	高野 邦子	小千谷商工会議所 副会頭
	中町 英明	本町商店街振興組合 理事長
	吉原 康幸	越後交通(株)小千谷営業所 所長
	本田 均	小千谷市社会福祉協議会 事務局長
	高橋 重尚	小千谷青年会議所 理事長
	藤田 仁	(株)北越銀行小千谷支店 支店長
	西脇 英郎	西小千谷地区町内会長協議会 会長
	関 昭夫	東小千谷地区町内会長協議会 東栄町内会長
そ の 他 員	鈴木 進五	鈴木英数教室
	高野 千佳子	高留商店
	中野 秀光	地域活性化・健康事業コンソーシアム 理事長

■ 西小千谷地区市街地まちづくり基本計画検討委員会設置要綱

(平成 27 年 5 月 14 日 告示第 86 号)

(設置)

第 1 条 本市の西小千谷地区の市街地まちづくり基本計画を策定するため、西小千谷地区市街地まちづくり基本計画検討委員会(以下「委員会」という。)及びその補助機関として西小千谷地区市街地まちづくり基本計画検討委員会幹事会(以下「幹事会」という。)を設置する。

(職務)

第 2 条 委員会は、西小千谷地区市街地まちづくり基本計画策定に関する事項について調査及び審議するものとする。

2 幹事会は、西小千谷地区の市街地まちづくり基本計画策定に必要な調査及び研究を行うものとする。

(委員会)

第 3 条 委員会は、12 人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

(1) 学識経験を有する者

(2) 各種団体等を代表する者

(3) その他市長が選考した者

3 委員の任期は平成 28 年 3 月 31 日までとする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員会に、委員長及び副委員長 1 人を置く。

5 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。

6 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

7 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(幹事会)

第 4 条 幹事会は、幹事長及び幹事をもって構成する。

2 幹事長は、副市長をもって充てる。

3 幹事は、企画政策課長、総務課長、危機管理課長、社会福祉課長、保健福祉課長、商工観光課長、建設課長、生涯学習スポーツ課長、地域振興課長の職にある者及び市長が指名する者をもって充てる。

4 幹事長は、幹事会を代表し、会務を総理する。

5 副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故あるときはその職務を代理する。

(委員会の会議)

第 5 条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

4 会議は、必要に応じ、幹事会と合同で開くことができる。

(幹事会の会議)

第 6 条 幹事会の会議は、幹事長が招集し、幹事長が議長となる。

2 幹事会の会議は、幹事の過半数が出席しなければ開くことができない。

(専門部会及び作業部会)

第 7 条 幹事会は、その担当する事務のうち特定の事項を処理するため、必要に応じて専門部会及び作業部会を置くことができる。

(庶務)

第 8 条 委員会及び幹事会の庶務は、建設課において処理する。

(委任)

第 9 条 この要綱に定めるもののほか、委員会及び幹事会の運営に関し必要な事項については、委員会及び幹事会が定める。

附 則

この要綱は、平成 27 年 5 月 14 日から施行する。

■ 導入機能意向調査の結果一覧

- ・委員及び関係団体から、導入が期待される機能を2案以内で回答。(複合施設可)
- ・下表は導入機能の意見の多かった順に記載してある。

導入機能	委員及び関係団体の意見
交流施設	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模の発表の場、多目的ホール、ギャラリー(幼・小・中・高、サークル等) ・国際交流の場(外国人研修生、錦鯉バイヤー、留学生等) ・情報発信の場(飲食店の新商品のPR、外国人向けの情報) ・楽集館のような生涯学習の場 ・セミナー、キッチンスクール等の多目的ルーム
図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・日本一の図書館をコンセプトにカフェ、レストラン、レンタルルームなどを併設したどこにもない図書館 ・特定分野に特化した図書館 ・幼児用の絵本室(子育て支援も兼ねる) ・アーケードがあることで利便性が向上 ・市民の理解が容易で、人が集まる
郷土資料館	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館を核として併設する ・西脇順三郎記念館
商業施設	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェ(図書館併設)、コンビニ、レストラン ・フードコート、ラーメン博物館等
健康センター	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹型相談支援センター(乳幼児、高齢者、障害児・者の相談支援窓口の一本化)
住宅施設	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者住宅や子育て世代住宅 ・賃貸住宅や分譲
宿泊施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスホテル ・簡易な宿泊施設(レンタルルーム)
公園、広場	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の憩いの場、信濃川や山本山が見える公園 ・四季を通じたイベントの開催
子育て支援施設	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター ・児童館
淡水水族館	<ul style="list-style-type: none"> ・信濃川水系の生物や世界の大河に住む魚、生物の紹介 ・CGによる川下り体験施設
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・坂下駐車場の高低差を活かした立体駐車場
医療施設	
高齢者福祉施設	

■ 導入可能性検証の結果一覧

庁内関係課への意見照会の結果

民間事業者ヒアリングの結果

導入機能	導入可能性		必要延床面積	既存建物の活用可能性		補助の有無	実現に向けた課題等
	有無	備考		有無	備考		
公園、広場	有	・街区公園 ・イベント広場	約 2,500 m ² (街区公園)	—	—	有	・公園の整備・管理運営に一層の市民参加が必要 ・イベント広場とする場合は平常時の利用が見込めないため、複合整備が前提
交流施設	有	—	約 1,000 m ² (補助対象面積)	有	—	有	・具体的にどのような機能を入れ込むか検討が必要
図書館	有	—	約 3,200 m ² (うち 900 m ² は西脇順三郎記念室)	有	・ゆとりあるスペースや館内の静寂性・照度の確保、利用者の出入りの管理、災害時等への対応等が課題	有	・カウンターから本棚までの移動しやすい動線が必要 ・広い閉架書庫や資料の保管スペース、バックヤード、作業スペース等が必要 ・問合せや住民票交付に対応する職員の配置が必要
健康センター	有	—	約 2,200 m ²	有	・4階の大会議室は共有貸出スペースとして利用	無	・駐車スペースの確保と整備が必要 (検診車と来場者駐車場の配置等に留意) ・事業に必要な設備の確保について検討が必要 ・市役所本庁との連携事務について、これまでと同様の対応は困難
郷土資料館	有	—	約 1,500 m ²	有	・“小千谷縮”の技術伝承の場として木造施設 200 m ² が別途必要	有	・旧法務局に収蔵庫を整備済みのため、展示をメインとしたスペースを確保 ・博物館法に準ずる施設であれば補助対象
住宅施設	無	・子育て世代住宅 (一般の分譲住宅)	—	—	—	—	・地価が高いため(約 19 万円/坪)、分譲住宅は難しい ・既存建物を活用して賃料を抑えれば、低所得者やシングルマザーの需要は考えられる
	有	・高齢者住宅	約 6,600 m ² (2,000 坪) ※福祉施設等を併設した場合 ※敷地の整形化が必要(最低でも国道 291 号に面する部分)	有	・住宅施設の基準を満たすことができれば可能	有	・サービス付き高齢者住宅の需要は高い ・高齢者福祉施設(グループホーム、デイサービス)、子育て支援施設(未満児保育、学童クラブ)、障害者福祉施設(グループホーム)、公共施設(図書館等)との併設が有効 ・特に公共施設との併設はプロジェクトの信頼性が高まる(ただし、管理運営の面で別棟が望ましい)
高齢者福祉施設	有	・特別養護老人ホーム ・デイサービス	—	有	—	有	・現在、まちなかに立地する高齢者福祉施設は少ない ・行政の事業計画への位置づけが必要 ・補助対象は通所施設のみ
子育て支援施設	有	・児童館 ・子育て支援施設	約 1,000 m ² (児童館) 約 1,300 m ² (子育て支援)	有	・柱の位置により間取りの制約が発生 ・上階への動線の検討が必要 ・フロアの見通しが悪い	有	・複合施設の場合はセキュリティが課題(入口に事務室や受付が必要) ・新たに職員配置が必要 ・屋内の軽運動場や屋外ひろばの確保が課題
医療施設	無	・クリニックモール	—	—	—	—	・既存医療機関との競合などの課題があり、医者集めが難しい
商業施設	有	・核施設に併設するドラッグストア、カフェ	—	—	—	—	・ドラッグストア程度を核となる施設に併設、図書館にカフェを併設する程度であれば可能性はある ・複合商業施設(例えばスーパー+飲食店+ドラッグストア)を整備するのであれば街区全体の大規模開発が必要と思われるが、合意形成が困難
宿泊施設	有	・ビジネスホテル	—	—	—	—	・現在既存のビジネスホテルは錦鯉のバイヤーによる需要があるうえ、立地的な面からさらなる需要は見込める。
淡水水族館	有	—	約 4,000 m ² (敷地面積) (公立博物館の設置及び運営に関する基準より)	有	—	有	・補助要件に該当させるためには大規模な施設整備が必要 ・公共による運営では教育性が重視されるため、集客性を重視する場合はエンターテインメント性が期待できる民間運営が適している ・小さな水族館では月 900 万円程度、大きな水族館では数千万円の維持管理費が必要

※太線…導入可能性のないもの

■ 市民ワークショップ まとめシート一覧

意見分類

A. 図書館（の中）で〇〇する（したい）

まとめシート（個人）

キーワード	自分がやってみたいこと		施設	人気投票
		イメージ		
くつろげるスペース		・気軽にに行けているいろいろなことができる場所		
おしゃべり		・座り心地の良いソファ ・多くの雑誌、本、CD、DVD ・一日いられる(食事)+長い時間(夜9~10時頃まで)	カフェ	1
景色の良い最上階のフロアの図書館で静かに本を読みたい		・ゆったりとした椅子で読みたい ・日が疲れたらちょっとした飲み物を飲める場所も欲しい	休憩場所	1
カフェでくつろぎたい		・市内の身障者の方が作ったクッキーやパンの販売をして社会訓練の場としてもらう ・市内の名産(料理)が日替わりで食べられる場所 ・学生も気軽に軽食が取れるスペースも別にあると良い(自販機等) ・景色を楽しめるように展望を兼ねる	カフェ 観光案内 展望	1
景観を活かして誰もが集える錦鯉カフェ		・小千谷の四季を楽しみながら、小千谷の錦鯉の泳ぐ姿を見ながらゆっくりとできる場所	カフェ	1
ゆっくり		・本をゆっくり読みたい ・暇なときに来てほしい	ゴロ寝カフェ	
一日ゆっくり本を読む		・カフェがあれば外に出なくてすむ(おいしいお茶とランチメニュー) ・体が疲れたらストレッチできるところがあるといい ・足湯とかあったら癒されそう	カフェ	
多目的スペース		・フリーで貸し借りできるスペース ・本を借りる目的をつくるというよりも図書館へ来る機会を作る ・様々なスペース(アトリエ・スポーツ・憩いの場)などを併設する ・様々な人に楽しんでもらえるようにする	フリースペース(いろいろな体験ややりたいことができるところ)	6
特別な人、特別な対象者が利用する場所でなく老若男女が集える場所		・ヒューマンロードとつながり、回遊できる遊歩道に水路をまわし、蛍も飛び交う憩いの地 ・小千谷市の最高の宝ともいえる素晴らしいロケーションを損なわないよう、奇抜な建物でなく河岸段丘の高低差を活かした設計 ・高台に多目的公園、ガラス張りの建物(1~2階は駐車場、3階はフリースペース、4階は児童館、5階は図書館)、これらを橋でつなぐ ・中途半端なものを詰め込んでも今ある施設の二番せんじになる(サンプラザや錦鯉の里のようなもの) ※まとめシートに絵あり	いろいろなイベントに流動的に使える広場(音楽や祭り)を残すことが最優先	
ミニコンサートの会		・気軽に音楽を楽しみたい ・定期的にいろいろなジャンルの音楽を楽しみたい	音響効果のあるスペース	
調べ学習と趣味		・スタジオ・小ホール(50人くらい収容) ・工作室	美術館、博物館	

意見分類

A. 図書館（の中）で〇〇する（したい）

まとめシート（個人）

キーワード	自分がやってみたいこと		人気投票
	イメージ	施設	
音楽の趣味が合う仲間と交流したい	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板等で「〇〇が好きな人ともに熱く語り合しましょう!」とか呼びかける ・図書館にレコードや昔のミュージシャンのCDをおく 	大型掲示板	
レッツチャレンジ室	<ul style="list-style-type: none"> ・料理→販売など ・工作→販売 ・音楽→発表 ・全天候対応イベントスペース 	創造スペース	2
勉強	<ul style="list-style-type: none"> ・個室部屋 ・いろんな種類の本 	勉強	
友人と勉強会	<ul style="list-style-type: none"> ・週末に集まれる場所 ・ネット環境のある場所、レポート制作 ・飲食ができる ・息抜きに雑誌を読みたい ・時間をつぶせる場所 ・待ち合わせに使える場所 ・とりあえず集まる（一番に思いつく）場所 	カフェ	
広々とした勉強スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・壁等でテーブルを区切って個別でできるスペースを設ける。 ・逆に友達とか複数人で話し合っているところも。 ・その近くには飲み物を飲めたり、ソファでくつろげたりできる休憩スペースも設ける（食べ物も） 	図書館 (強いて言うなら)飲食店	1
もっと勉強しやすくしたい	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食スペースがあれば一口中図書館の中で集中することができる。 ・友達と一緒に有意義に勉強することができる。 ・夏休み等学生が気軽に勉強できるようにしてほしい。 	飲食できるスペース	
子どもが読書を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・いい絵本、児童書がたくさんある ・読み聞かせやお話会が開かれている ・本の相談やアドバイスをしてくれる職員がいる ・ボランティア活動が盛んでいろいろな交流ができる 	ゆったりとした子ども図書館	
子育て世代の情報交換	<ul style="list-style-type: none"> ・同世代の子どもを持つ親同士がお茶をしながら話ができるスペース ・続き部屋を利用して子ども達の日の届くようにする 	親子の集うスペース	
図書館内に子育て支援の楽しい環境づくりをして図書館に親しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの笑顔が輝いているまちづくり!! ・夢の膨らむ住みやすい子育てに優しい町にしたい 	多目的な施設・スペース	1
動と静の学習館	<ul style="list-style-type: none"> ・見て知るだけでなく体験できる施設 	体験学習	
大きな絵本作り	<ul style="list-style-type: none"> ・小千谷の布を使って郷土の話や童話を表現したい 	子どもも大人も一緒に作業できる部屋(空)	
いろんな人との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味や年代が違う人たちと情報交換できるスペースを設ける 	眺めのいい休憩場所	
運動	<ul style="list-style-type: none"> ・冬でも体を動かしたい ・一緒に体を動かしたりしている人々と交流したい ・子どもも元気に遊ぶ、冬は雪で遊ぶ 	運動・公園	
運動	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館での勉強とリフレッシュとして体を動かしたい 	体育館	

意見分類

A. 図書館（の中）で〇〇する（したい）

まとめシート（個人）

自分がやってみたいこと			人気投票
キーワード	イメージ	施設	
ウェルカム！図書館の入口の工夫	・入口に小千谷の地図、日本の地図、世界地図を配置する(マット等)	人口マット	
パソコン	・パソコンを使って調べものをしてそれをすぐプリンターで印刷したい ・パソコン教室を開く	大学の図書館みたいにパソコンがずらっと並んだスペース	

意見分類

B. 図書館の本や施設とコラボして〇〇する

まとめシート（個人）

自分がやってみたいこと			人気投票
キーワード	イメージ	施設	
深夜に読書しながらお酒を飲む	・小千谷の景色やLED装飾された錦鯉の水槽を眺めながらゆっくりと過ごす	屋内フリースペース 展望室	3
図書館にいて本を読み休憩する(町中休憩所)	・本を読んだりお茶をしたりおしゃべりをしたり、市民が気軽に集う場所(無料or有料)	喫茶室 休憩室	
7～8階の建物	・様々な施設を複合する	子育て支援センター(1階) 図書館、子どもから年寄りまで集えるスペース(2～3階) 無料で使用できる多目的スペース(4階) ビジネスホテル(5～8階)	
本で図鑑で見た生物の実物を見せたい！！	・図鑑に出ている動物、魚の実物を見せてあげたい ・「小千谷にはこれがあるんだよ」と子どもに教えてあげたい ・信濃川だけでなく、世界の大河の魚を見せてあげたい	3D図鑑(3D図書館)(ミニ水族館・ミニ博物館・ミニ動物園)	2
大展望室(ガラス張り)	・室内から遊歩道へアクセス ・マイクロバス駐車場を設けて地域をつなぐ	大展望台 喫茶店、ラウンジ 地下駐車場 マイクロバス駐車場	3
様々なものづくり体験	・図書館の本を使った料理や手芸 ・上の世代の人から学ぶ伝統工芸など ・知っていること、知らないことを交換できる	ワークショップ 工作室	2
会合できるような場	・いす・テーブル等が備えられた会議室 ・仕切りで区切ることで小さきさまざまな規模に対応 ・カフェなどを備え、憩いの場にも ・一時利用ではなく普通の貸しオフィスとして使えるスペース等も	多目的オフィススペース	

意見分類

C. 図書館に寄ったついでに〇〇する

まとめシート（個人）

自分がやりたいこと			人気投票
キーワード	イメージ	施設	
図書館を中心に誰でも楽しく過ごせる空間	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の人にはママ友交流室 ・疲れている人にはゆったりと本を読み、リラックスできる ・一人暮らしの方には一口ゆっくり静かに過ごしたり楽しめる空間 	子育て支援するところ リラックスルーム 地域の茶の間 カフェ、食堂	5
小千谷の風景(川・山・岸)を眺められること	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館を通して地域を発信(歴史文化産業) 	展望台と順三郎記念館	1
散歩！	<ul style="list-style-type: none"> ・木や植物もあって気持ちよく過ごせる ・目的がなくても行きたくなる、街に出たくなる 	おもしろい公園	

意見分類

D. 図書館に来る人をつかまえて(一緒に)〇〇する

まとめシート（個人）

自分がやりたいこと			人気投票
キーワード	イメージ	施設	
試食販売・小規模イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・市内飲食店等の日替わり試食販売 ・部活・サークル等の発表の場 	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンキッチン ・多目的スペース ・屋根のある広場 	1
小千谷の歴史・文化・観光 学びと発信の場	<ul style="list-style-type: none"> ・産業や偉人、歴史等の紹介・展示 ・観光情報の提供 ・市外・外国人の案内機能(観光ボランティア協会) ・伝統文化体験 ・名産の販売 ・市民が歴史を学ぶ場(子どもと大人) ・リンクして図書館にコーナーを設ける 	おぢや情報館	
多世代間の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と小中高生がお互いに楽しめる企画を出して交流する 	多目的スペース	
小千谷食べ物博物館(横浜のラーメン博物館的な)	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一つテーマを決めて市内の飲食店が出店(ラーメン、そば、すし、カレー等) 	多目的キッチン	4

意見分類

E. ○○しながら△△する

まとめシート（個人）

自分がやりたいこと		施設	人気投票
キーワード	イメージ		
ゆったりできる個室	<ul style="list-style-type: none"> ・手足を伸ばして寝そべることのできるスペース ・外の風景を存分に眺められる大きな窓 		1
家のようにリラックス	<ul style="list-style-type: none"> ・外観も堅苦しくなく、木などを使う ・和の空間で落ち着かせる ・人との交流も盛んになるかも?! 	ソファ、たたみ	2
景色をながめゆったり	<ul style="list-style-type: none"> ・展望室で食事、お茶する 	展望レストラン	1
1人でも何人ともでも一口飽きずにいれるような図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の堅いイメージを覆すような雰囲気なら若い人も来れる ・勉強を友達とできる、静かにしなくてもいい ・楽しめるイベントがあればたくさんくる ・安く飲食できる 	癒しや楽しめるスペースやイベント施設	
子どもを通じて人と出会いたい	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊べるスペース(ワンパーク不可! つまらないから人も行かない。長岡のてくてく、相崎キッズスペース並の遊べる場所) ・飲食もでき、子どもが遊んでいる間、ママ友と話せる(一日中遊べる) ・祖父母も連れて行ってもらえる(他の人と交流できる) ・行けば誰かしら会える 	きれいな屋内屋外子どもの遊び場	
社交遊技場	<ul style="list-style-type: none"> ・カード系のゲーム、ルーレット等 ・将棋等のボード系のゲーム ・地域の人との交流 	カフェ	2

意見分類

F. 図書館とは別に〇〇する

まとめシート（個人）

キーワード	自分がやってみたいこと		人気投票
	イメージ	施設	
友達と集まって騒ぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・ふらっと集まって思いついたことができる(勉強、カードゲーム、通信対戦、一緒に動画を見る、踊るなど) ・少人数の部活、サークル、プライベートな活動に優しい ・ただいすと机があればそれなりに楽しい 	何もない広場 何もない貸し部屋	
貸しスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・数時間から数ヶ月借りられ、お試しショップやラーメン食べ歩きの写真展、趣味を語るおしゃべり会など、いろんな思い付きを実際にやってみれる場所 	活動が外からでも分かる開放的な部屋	
小千谷の多様な文化の展示・体験・発信	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や市外からの観光客が、見て触れて楽しめる ・外国から来た人も観光しやすいように案内所、通訳の人を在中させる 	文化の展示、体験コーナー	2
観光案内と地場産業のPR	<ul style="list-style-type: none"> ・食事、観光地、交通手段など総合的な観光案内施設 ・地場産業の革新技术が映像と展示物で見えて専門のガイドが案内する ・各種会議やイベントコンサートができるレンタルルーム 	交流館	1
ミニFM局でDJ！	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な人が自分で選んだ曲を流したり、読み聞かせをしたり、自由な番組を作って放送する ・災害時にはいち早く市民に情報を提供す 	FM放送局	2
小千谷の歴史・文化を知ることができるものを展示する場所	<ul style="list-style-type: none"> ・市外からお客様が来たとき案内できる ・四季折々に市民が所有している書画などを展示 	個人が所有しているものは貴重なのでセキュリティがしっかりしている展示施設	2
小さなFM局をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報発信やDJをやってみたい！この曲を流したい！という人たちが気軽に少ないお金で放送できる ・万が一のときは災害情報を広げることできる 	FM放送スタジオ	
お客がきたときに連れてゆける場所	<ul style="list-style-type: none"> ・小千谷の歴史を学べる場所 ・郷土の資料の展示(資料や雛人形、勝ちある屏風) 	郷土資料、歴史館	
趣味の練習と発表の場	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館内にいろいろな趣味の教室等があれば大勢の方と交流できそう ・練習スタジオ 	多目的ホール等 屋根付の広場	
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・練習する場所がない ・ダンス、舞踏、楽器等ができるところがほしい 	多目的スタジオ	1
ストリートダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・広いスタジオ(良質な音楽機器、壁の内、一つは全て鏡、防音) ・ステージのある広場、平らな地面 ・鏡やガラスで自分を映せる ・外でも音を気にしなくていい 	多目的スペース/広場	1
趣味を楽しめる	<ul style="list-style-type: none"> ・カルチャースクール(料理・大工・パソコン) ・スタジオ(鏡と防音) ・工作室 ・ミニスポーツ施設(ビリヤード、3on3、卓球、反復横とび) ・1時間の託児所(無料) 	多目的施設	

意見分類

F. 図書館とは別に〇〇する

まとめシート（個人）

キーワード	自分がやってみたいこと		人気投票
	イメージ	施設	
カルチャーセンター	楽集館の内容をもっとちっとした施設 美術館、博物館、音楽施設	多目的スペース	1
屋外で気分転換	・美しい景観をいかす ・昼休みにお弁当を食べる ・ウォーキング、パーベキュー、スポーツ ができる場所 ・春はお花見、秋は紅葉の名所として人が 集まる。	公園	
景観、眺望空間に癒し 空間	・高台に集う空間 ・清流を活かした癒し(錦鯉)	へぎ蕎麦全店(お客様 を連れて行ける場所 作り)	1
市民の憩いの場	・美しい景観整備で誰がいつ行っても落ち 着けるところ ・展望台 ・遊歩道 ・芝生広場	美しい公園	
子ども、障害者、高齢 者、誰もが心や体のこ とを相談できる場所が ほしい。	・母親が安心して子どもを育てることがで きる ・小千谷病院が小千谷の健康を守っていた ことをつなげる施設	保健センター	
市民が気軽に相談でき るセンター	・子ども、障害者、お年寄りの相談はここ に来れば大丈夫	総合相談支援セン ター	2
相談したい	・困ったときに誰に（どこに）相談すれば よいかわかる ・子育てで困ったことがある時相談できる ・保育士や保健師、相談員がいつもいる	支援センター	1
総合的な相談窓口	・子どもから障害者、高齢者まで多様な ニーズに相談できる窓口(包括子育て支援セ ンター、障害者相談支援センター、地域包 括支援センター) ・市役所の手続きもできる ・子どもや障害者、高齢者の交流スペー ス、カフェの設置	総合保健福祉セン ター	1
子どもの遊び場	・冬期間も体を十分動かせる屋根付の運動 場	屋根付運動場	6
ものづくり	・自分で作ったものを持ち帰れる ・自分で作ったものを展示できる	工業系の展示館	
ロボコン	・工作室 ・部品ショップ ・大会を行う広いスペース ・学生を先生に	ロボコンピット	1
いろいろな国の人たち とおしゃべり	・海外からの訪問者と市内の子どもたちと おじいちゃんおばあちゃんであげ気軽に触れ合 うスペース	飲食できる交流ス ペース	
全ての年代の人が「ま た来たくなるね」「気 軽に立ち寄れるね」 「いろいろな人に出会 えて楽しいね」「一日 いても飽きないね」を 実現できる施設群の開	・具体的に目的を持って訪れてそこにいる 人たちと次から次へと交流が深まっていく	小千谷交流館	
市民活動拠点	・デスク、PC、作業台、製本、印刷、会議 室、棚	誰でも使える事務所 のようなスペース	

意見分類

F. 図書館とは別に〇〇する

まとめシート（個人）

自分がやってみたいこと			
キーワード	イメージ	施設	人気投票
協働ルーム 町の中心で飲食しながら夜も打ち合わせしたい	<ul style="list-style-type: none"> ・会議・打ち合わせができる部屋、資料作り(印刷機・文具を備えた) ・飲食OK ・夜10:00 	協働ルーム	
クライミングジム	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから中高年の方が気軽に楽しめる ・運動が苦手な方でもはまれるスポーツ ・心と体への効果が大きい 	3～4mの人工壁が作れる空間 マット	
遊びたい	<ul style="list-style-type: none"> ・走り回るだけでなく音楽イベントや芸術イベント等も楽しみたい ・BBQをしたい ・お酒を飲みたい。 	公園	2
夜でも集まれる	<ul style="list-style-type: none"> ・テナントを入れて夜でも人が集まる施設にする(飲食店・コンビニ) ・開館時間を長くし、いろんな層の人が集まれるようにする 	テナント	1
24時間のスーパー銭湯 カプセルホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・でっかい風呂に入れてカプセルホテルで安く泊まれる 	スーパー銭湯 カプセルホテル	1

意見分類

G. あてはまらない 枠を突き抜きたい

まとめシート（個人）

自分がやりたいこと			
キーワード	イメージ	施設	人気投票
市民、観光客が一体となれる場所	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館には小千谷歴史や便化を紹介できるスペースのほか、市民も観光客も気軽に立ち寄れるスーパー銭湯で裸の付き合い ・錦鯉を見ながらカフェできる「にしきごいカフェ」 ・安く泊まれるユースホテル併設 	にしきごいカフェ スーパー銭湯 ユースホテル	3
市民が集い「生きる」を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・静かな個室があり、子どもたちが楽しめるキッズスペースもある図書館 ・障害のある方もお年よりも子どもも集い、楽しめる、カフェでありお茶の間スペースであり、イベントスペースであり、運動場である ・受信でき発信できるランドマークな存在 	総合多機能型施設	1
市民ワンストップお助けサポート支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての市民の命や暮らし教育全てのワンランクアップの手助けをする支援組織 	市民活動や生活全てにとってここに行けばさばいてくれる相	3
景気を善くする	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館×真剣⇒競争する 地域通貨の導入 ・図書館×研磨⇒問題を聴き提議する地域放送局の開設 ・図書館×懸命⇒大人の責任を自覚しミク 	銀行・スタジオ・カジノ	
学校とネットワークを結ぶ（若い子が元気に活動できる場）	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生、中学生、若者が学びたいこと、やりたいことを実現できる場としての図書館 	ネットワークと人の交流	2
ビジネスホテル	素晴らしいロケーションあり		
医療の継続	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の中に各科の個人医院を誘致してこれまでの集客を維持する（小児・耳鼻・皮膚・整形 他） ・収入を別のことにあてられる ・商店街の店（薬局等）を減らすことなく維持 ・プラス図書館で利用者増と考えられる 	街中医療ゾーン	3
市民の方々の要望の後の問題になります。障害者が様々に楽しむため（それぞれの興味）のスペース	希望によって個室等、視覚障害者には点字本	年代の興味 様々 展望台など（年代関係なく）	

まとめシート

氏名 _____

自分がやってみたいことは？

出来るだけ
大きな字で
簡潔に！

具体的なイ
メージなど
補足したい
ことを

どんな施設があれば、上記を実現できそうですか？

図書館



今日一番“いいな”と思った意見は？

出来るだけ
大きな字で
簡潔に！

具体的なイ
メージなど
補足したい
ことを